287
9

岡山医科大學一覽

自昭和八年
至同　九年

岡山醫科大學一覽

自昭和八年
至昭和九年

岡山醫科大學一覽

目次

◉沿革略 一頁
◉大學ニ關スル法令
大學令 一一五頁
官立醫科大學官制 一二一頁
◉學位 一二七頁
學位令 一三〇頁
岡山醫科大學學位規程 一三五頁
◉官立大學長職務規程 一三五頁
◉官立大學教官ノ職務俸ニ關スル件 一三七頁
◉名譽教授ノ待遇ニ關スル件 一三七頁

發行所寄贈本

昭和

◉岡山醫科大學職員 三九頁
◉岡山醫科大學規則
第一章 學期及休業日 五一頁
第二章 授業學科目 五二頁
第三章 入學在學休學退學轉學及除籍 五七頁
第四章 試驗及卒業 六〇頁
第五章 試驗手數料、入學料及授業料 六二頁
第六章 服裝 六四頁
第七章 懲戒 六四頁
第八章 外國學生 六四頁
第九章 專攻生 六五頁
◉岡山醫科大學研究科規程 六九頁
◉岡山醫科大學副手規程 七三頁
◉岡山醫科大學附屬醫院規程 七五頁

◉岡山醫科大學附屬醫院產婆看護婦養成科規則 七七頁
◉岡山醫科大學附屬圖書館規程 八七頁
◉岡山醫科大學獎學資金規程 九一頁
岡山醫科大學學生獎學資金貸與規程 九二頁
◉學生
學生道府縣別人員表 九九頁
◉建物略圖 一〇五頁
◉附錄
學友會規則 一〇七頁
岡山醫科大學卒業生 一〇七頁
元第三高等中學校醫學部、元第三高等學校醫學部、元岡山醫學專門學校、元岡山醫科大學附屬醫學專門部卒業生 一一五頁
一一一頁

287-9

岡山醫科大學一覽

⊙沿革略

岡山醫科大學ハ大正十一年勅令第百四十三號ニ依リ同年四月一日ヨリ設置セラレ岡山醫學專門學校ノ組織ヲ變更シテ成レルモノナリ。今遡リテ其沿革ヲ敍スヘシ。

明治三年四月岡山藩大ニ醫學ノ進歩ヲ圖リ、備前國上道郡門田村操山ノ麓ニ醫學館及大病院ヲ開設シ、毎年約米五千苞ヲ給シテ其資ニ充テ、淺野學ヲ督事ニ任シ蘭醫魯依篤兒等ヲ教師ニ聘シ醫學生徒ヲ教育シ、廣ク患者ヲ治療ス。

明治四年七月更ニ小病院ヲ岡山中之町ニ設ク、是ヨリ先淺野學ノ督事ヲ免シ田坂辰三郎ヲ以テ之ニ代フ、十二月普通學校ヲ開設シ、醫學館ヲ

明治五年二月醫學所及大病院ヲ閉鎖シ、唯小病院ノミヲ存ス、四月之ヲ再興シ、生田安宅ヲ以テ總括トナス、七月醫學所、大病院及小病院ヲ合併シ中村謙次郎ヲ取締ニ任シ、病院中ニ醫學所ヲ設ケ、之ヲ醫學教場ト稱ス、是ヨリ後明治十三年マテ醫學教場ハ全ク病院ノ附屬タリ。幾モナク中村謙次郎其職ヲ罷メ生田安宅代テ取締ノ事ヲ行フ。

明治六年八月病院ヲ岡山榮町ニ移ス。

明治八年八月始メテ病院長ヲ置キ、生田安宅ヲ以テ之ニ任ス。

明治九年四月公立病院ト改稱ス。六月生田安宅ノ病院長ヲ免シ、若栗章ヲ以テ之ニ代フ。

明治十二年三月公立病院ヲ縣立病院トナス。五月病院ヲ岡山弓之町ニ移ス。七月若栗章辭職ス。十月清野勇ヲ病院長兼醫學教頭ニ任ス。

明治十三年九月醫學教場ヲ病院ト分離獨立セシメ岡山縣醫學校ト改稱シ、菅之芳ヲ校長ニ任ス。

明治十五年四月本校卒業生ハ別ニ試驗ヲ要セス直ニ內務省ヨリ開業

免狀ヲ交付セラルヽコトヽナレリ。蓋シ其特典ヲ得タルハ、醫學校中ニ於テ本校ヲ以テ嚆矢トス。

明治十六年六月校ヲ岡山內山下西丸ニ移ス。八月甲種醫學校ノ允許ヲ得タリ。

明治十八年八月六日　車駕山陽道御巡幸ノ節本校ヘ　臨御アラセラル。

明治十九年四月九日勅令第十五號ヲ以テ中學校令ヲ布カレ、全國ヲ五區ニ分劃シ每區ニ高等中學校一箇所ヲ設置スルコトヽナリ、同月二十九日勅令第三十五號ヲ以テ高等中學校ノ官制ヲ定メ、十一月三十日文部省告示第三號ヲ以テ各高等中學校ノ設置區域ヲ定メラル。

明治二十年八月十九日文部省告示第六號ヲ以テ各高等中學校ニ醫學部ヲ設置シ、第三高等中學校醫學部ヲ岡山ニ置カル。九月十七日文部省令第九號ヲ以テ高等中學校醫學部ノ學科及其程度ヲ定メラル。

明治二十一年二月四日岡山縣醫學校長兼教諭菅之芳第三高等中學校

醫學部長ヲ命セラル。三月三十一日岡山縣醫學校ヲ廢止ス。四月一日第三高等中學校醫學部ヲ開設ス、其校舍ハ岡山縣醫學校所用ノモノヲ假用シ、其生徒ノ階級ハ、舊醫學校生徒及各府縣舊醫學校生徒ヲ以テ之ヲ編制シ、其臨牀講義及治療ニ關スル實地演習ハ、總テ岡山縣病院ニ就テ之ヲ行フコトヽナス、同月八日開部式ヲ行フ。十二月二十七日　明治天皇陛下並ニ照憲皇太后陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス。

明治二十二年三月二十二日文部省令第二號ヲ以テ高等中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ、其學科及程度ヲ定メラル。五月二日地ヲ岡山內山下ニ相シ、茲ニ本校新築ノ工ヲ起ス。

明治二十三年二月六日文部省告示第一號ヲ以テ本校ニ藥學科ヲ附設セラル。同月十四日教諭松尾周藏幹事ニ兼任ス。四月八日附設藥學科ヲ開設ス。七月十二日本校構內ニ病院新築ノ工ヲ起ス。同月二十一日去年五月起工セシ新築校舍略落成シタルニヨリ此ニ移轉ス。十月十五日勅令第二百三十號ヲ以テ直轄學校官制ヲ改正セラレ、教諭助教諭ヲ改メ

テ教授、助教授ニ任シ、菅部長ハ改メテ主事ヲ命セラル。十二月六日研究生規程ヲ定ム。同月二十七日教育ニ關スル御宸署ノ勅語ヲ拜受ス。

明治二十四年一月十二日第一回勅語捧讀式ヲ行フ、七月一日病院新築工事略落成セシニヨリ岡山縣病院ヲ此ニ移轉セリ。同月二十四日勅令第百三十七號ヲ以テ直轄諸學校官制ヲ改正シ幹事ヲ廢セラル。九月二十四日文部省令第五號及第六號ヲ以テ醫學科ノ學科及其程度中各學科ノ授業時數及藥學科ノ學科及其程度中改正追加セラル。

明治二十六年九月十日醫科及藥學科ノ學科程度中英語ヲ外國語ト改メ之ヲ隨意科トナシ、裁判醫學ヲ法醫學ト改ム。

明治二十七年六月二十三日勅令第七十五號ヲ以テ高等學校令ヲ布カレ、七月十二日文部省令第十五號ニ據リ九月十一日ヨリ本校ヲ第三高等學校醫學部ト改稱シ、附設藥學科ヲ廢セラル、同日文部省令第十六號ヲ以テ修業年限及入學程度ノ件ヲ、又同月十七日同省令第十七號ヲ以

テ講座ノ數ヲ定メラル。

明治二十八年七月二十二日主事菅之芳非職ヲ命セラレ、內科學研究ノ爲メ滿二年間獨國へ留學ヲ命セラル。七月三十一日教授熊谷省三主事ヲ命セラル。同月二十一日自今卒業生ハ醫學得業士ト稱スルコトヲ得、元第三高等中學校醫學部卒業生ハ學力檢定ノ上得業士ト稱スルコトヲ得ル規定ヲ定ム。

明治二十九年九月十七日特待生規程ヲ定ム。

明治三十年十二月十日曩ニ獨國へ留學ヲ命セラレタル非職教授菅之芳歸朝セシニ依リ復職(主事故ノ如シ)ヲ命セラレ、教授熊谷省三ノ主事ヲ免セラル。

明治三十四年三月三十一日勅令第二十四號文部省直轄諸學校官制中改正ニ基キ、四月一日文部省令第八號ニ據リ四月一日ヨリ第三高等學校醫學部ヲ第三高等學校ヨリ分離シテ、岡山醫學專門學校トセラル。本校ハ明治二十一年四月ヨリ第三高等中學校ノ所屬タリシカ此ニ至リ

テ始メテ獨立セリ。四月一日教授菅之芳學校長心得ヲ命セラル。六月五日學校長ニ任セラル。

明治三十六年三月二十六日勅令第六十一號ヲ以テ專門學校令ヲ公布セラル。同月三十一日專門學校入學者檢定規程ヲ定メラル。

明治三十九年七月九日爾今卒業證書授與式ヲ廢止ス。

明治四十年四月十日文部省令第十號ヲ以テ官立醫學專門學校規程ヲ定メラル。

明治四十一年十一月二日規則中ヲ改正シ、明治四十一年以後ノ卒業者ハ岡山醫學專門學校醫學士ト稱スルコトヲ得ルコトヽセリ。

明治四十二年五月二十日規則中ヲ改正シ、明治四十年以前ノ卒業者ニシテ岡山醫學專門學校醫學士ト稱スルコトヲ得ル者ヲ規定ス。

明治四十三年二月十日外國人特別入學規定細則ヲ定ム。十一月十七日御沙汰ニヨリ恒久王殿下本校ニ台臨アラセラル。

大正二年七月十五日校長兼教授菅之芳願ニ依リ本官竝兼官ヲ免セラ

レ千葉醫學專門學校教授筒井八百珠學校長兼教授ニ任セラル。

大正三年三月三十日菅之芳ヨリ內科學特別奬學金トシテ金壹千圓ヲ寄附ス。

大正四年六月十七日菅忠芳ヨリ菅奬學資金トシテ公債額面貳千參百圓ヲ寄附ス。十月二十二日　天皇陛下御眞影拜戴式ヲ行フ。

大正五年十月二十三日　皇后陛下御眞影皇太子殿下御影拜戴式ヲ行フ。十二月二十三日山上賴治ヨリ學校敷地內ニ金拾萬圓ヲ以テ研究所及其設備一切ノ寄附ヲ出願ス。

大正七年一月八日文部省令第一號ヲ以テ官立醫學專門學校規程中ヲ改正セラル。二月二十一日病理學教室及藥物學教室改築校舍竣工ス、是ヨリ先キ岡山市外鹿田村ニ本校ヲ移轉改築スルコトヽナリ、大正六年一月ヨリ其工事ニ着手セシモノナリ。四月十三日本校官立三十年岡山縣病院縣立四十年祝賀式ト共ニ記念祝賀式ヲ擧行ス。十二月七日解剖學教室及附屬室竝ニ生徒控所改築工事竣成ス。

大正八年九月三十日生理學教室竝ニ實驗室其他竣工ス。

大正九年十月四日本館及衞生學細菌學教室共他竣工ス。

大正十年一月二十八日校長兼教授筒井八百珠薨去、同日教授舟岡英之助學校長事務取扱ヲ命セラル。三月三十日勅令第四十九號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ヲ改正シ其結果四月一日ヨリ元岡山縣病院ヲ繼承シ之ヲ附屬醫院トナス。四月一日附屬醫院規則及附屬醫院看護婦養成規則ヲ定ム。同日教授筧繁附屬醫院長兼醫長ヲ命セラル。同月十四日事務所ヲ新築校舍ニ移轉ス。同月二十五日醫化學講義室竝同實驗室及附屬室竣工ス。五月三十日教授藤田秀太郎學校長兼教授ニ任セラレ教授舟岡英之助ノ學校長事務取扱ヲ免セラル。

大正十一年三月三十一日勅令第百四十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ヲ改正シ岡山醫學專門學校ヲ削ラル。同日勅令第百四十三號ヲ以テ官立醫科大學ヲ置カル。四月一日藤田秀太郎大學長兼教授ニ任シ附屬醫學專門部主事ニ補セラレ筧繁附屬醫

院長ニ補セラレ教授以下職員ノ任命アリ。同月二十五日第一年級ノ授業ヲ開始ス。五月五日入學宣誓式ヲ擧行ス。六月二十一日教授箕輪ノ附屬醫院長ヲ免シ教授藤田秀太郎附屬醫院長ニ補セラル。

大正十二年三月三十日勅令第九十三號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。九月二十六日教授田中文男附屬醫院長ニ補セラレ教授藤田秀太郎ノ同醫院長ヲ免セラル。大學長藤田秀太郎歐米各國視察ノ爲出張ヲ命セラレ十月十五日出發ス依テ教授上坂熊勝ニ學長事務代理ヲ命ス。

大正十三年二月四日研究科規程中ヲ改正ス。四月二十一日勅令第九十四號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正シ附屬醫學專門部ヲ廢止セラル。同月十三日大學長藤田秀太郎歸朝ス依テ教授上坂熊勝ノ學長事務代理ヲ解ク。

大正十四年三月十四日大學長兼教授藤田秀太郎願ニ依テ本官竝兼官ヲ免セラレ同日教授田中文男大學長ニ任セラレ越エテ同二十五日教

授ニ兼任セラル。同二十三日學則第三十五條ヲ改正シ授業料一箇年金百圓トス。三月三十一日教授赤岩八郎附屬醫院長ニ補セラル。十一月二日本學規則中第六條第七條及第三十七條ヲ改正ス。

大正十五年五月二十三日　皇太子殿下中國地方御巡啓ノ砌本學ヘ行啓遊サル。十月十五日教授生沼曹六附屬圖書館長ニ補セラル。十一月三十日教授上坂熊勝ヨリ上坂奬學資金トシテ公債額面金貳千圓ヲ寄附ス。

昭和二年三月三十一日教授赤岩八郎ノ附屬醫院長ヲ免セラレ教授林道倫附屬醫院長ニ補セラル。

昭和三年十月十日　天皇陛下　皇后陛下御眞影拜戴式ヲ行フ。十月二十九日勅令第二百五十五號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。

昭和四年三月十二日教授林道倫ノ附屬醫院長ヲ免セラレ教授柿沼昊作附屬醫院長ニ補セラル。三月三十一日學則第三十五條ヲ改正シ授業料一箇年金百貳拾圓トス。大學長田中文男歐米各國醫事狀況視察ヲ命

セラレ五月二十日出發ス仍テ教授上坂熊勝ニ學長事務代理ヲ命ス。十一月十八日大學長田中文男歸朝、教授上坂熊勝ノ學長事務代理ヲ解ク。十二月十七日勅令第三百五十七號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。

昭和五年十一月四日勅令第二百十三號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。同十二日陸軍特別大演習御統裁ノ爲岡山御駐輦中御沙汰ニヨリ本多侍從ヲ本學ニ御差遣學內ノ狀況ヲ視察セシメラル。同十八日　天皇陛下陸軍特別大演習宮恒憲王殿下本學ヘ台臨遊サル。

昭和六年二月六日　天皇　皇后兩陛下御眞影ヲ奉還シ新ニ下賜セラレタル御眞影ヲ奉戴ス、三月五日教授柿沼昊作ノ附屬醫院長ヲ免セラレ教授好本節附屬醫院長ニ補セラル。六月十六日教授生沼曹六依願附屬圖書館長ヲ免セラレ教授清水多榮附屬圖書館長ニ補セラル。七月十六日賀陽宮恒憲王殿下學術奬勵ノ御思召ニ依リ本學ヘ台臨遊サル。十

一月九日大學長兼教授田中文男願ニ依リ本官ヲ免セラレ教授專任トナリ同日教授田村於兎大學長兼教授ニ任セラル。

昭和七年三月三十一日岡山醫科大學規程並岡山醫科大學研究科規程中各々一部改正セラル。

昭和七年五月一日財團法人積善會ニ於テ寄宿舍ヲ建築シ之レヲ大學ニ借入レ學生ヲ收容ス。十二月十六日臨海實驗所新築竣成ス。

昭和八年三月二十七日教授好本節ノ附屬醫院長ヲ免セラレ教授安藤畫一附屬醫院長ニ補セラル。六月二十六日教授清水多榮依願附屬圖書館長ヲ免セラレ教授遠藤中節附屬圖書館長ニ補セラル。十月一日奉安殿新築竣成御眞影ヲ奉遷ス

⊙大學ニ關スル法令

大學令

勅令第三百八十八號（大正七年十二月六日）
（昭和三年一月勅令第七號改正）

第一條　大學ハ國家ニ須要ナル學術ノ理論及應用ヲ教授シ竝其ノ蘊奥ヲ攻研スルヲ以テ目的トシ兼テ人格ノ陶冶及國家思想ノ涵養ニ留意スヘキモノトス

第二條　大學ニハ數箇ノ學部ヲ置クヲ常例トス但シ特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一箇ノ學部ヲ置クモノヲ以テ一大學ト爲スコトヲ得

學部ハ法學、醫學、工學、文學、理學、農學、經濟學及商學ノ各部トス

特別ノ必要アル場合ニ於テ實質及規模一學部ヲ構成スルニ適スルトキハ前項ノ學部ヲ分合シテ學部ヲ設クルコトヲ得

第三條　學部ニハ研究科ヲ置クヘシ

數個ノ學部ヲ置キタル大學ニ於テハ研究科間ノ聯絡協調ヲ期スル爲之ヲ綜合シテ大學院ヲ設クルコトヲ得

第四條　大學ハ帝國大學其ノ他官立ノモノヽ外本令ノ規定ニ依リ公立又ハ私立ト爲スコトヲ得

第五條　公立大學ハ特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道、府縣及市ニ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

第六條　私立大學ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　前條ノ財團法人ハ大學ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少ナクトモ大學ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財產ヲ有スルコトヲ要ス

基本財產中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大

臣ノ定ムル有價證券トシ之ヲ供託スヘシ

第八條　公立及私立ノ大學ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

學部ノ設置廢止亦同シ

前項ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

第九條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

入學ノ順位ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　學部ニ三年以上在學シ一定ノ試驗ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上トス

第十一條　研究科ニ入ルコトヲ得ル者ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上其ノ他ノ者ニ在リテハ三年以上當該學部ニ在學シ其ノ他相當ノ學力ヲ具ヘタル者ニシテ當該學部ニ於テ適當ト認メタルモ

ノトス

第十二條　大學ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得

大學豫科ニ於テハ高等學校高等科ノ程度ニ依リ高等普通教育ヲ爲スヘシ

第十三條　大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十四條　大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等科ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　大學豫科ノ生徒定數ハ毎年ノ豫科修了者ノ員數カ其ノ年

當該大學ニ收容シ得ル員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條　大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍內ニ於テ當該大學之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置クヘシ

第十八條　私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第十九條　公立及私立ノ大學ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第二十條　文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ依ラサル學校ハ勅令規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウル學校ニハ當分ノ內第二十一條ノ規定ヲ適用セス

官立醫科大學官制

勅令第百四十三號（大正十一年三月三十一日）

（大正十二年三月勅令第九三號・十三年四月第九四號・五月第一三四號・十四年四月第七九號・十五年九月第二〇二號・昭和二年十二月第三六四號・二年十月第一五五號・四年四月勅令第七五號・十二月勅令第三五七號・五年十一月勅令第二一三號・六年四月勅令第七〇號改正・昭和七年十二月勅令第三九二號改正）

第一條　官立醫科大學ハ左ノ如シ

新潟醫科大學
岡山醫科大學
千葉醫科大學
金澤醫科大學
長崎醫科大學
熊本醫科大學
名古屋醫科大學

第二條　官立醫科大學ニ左ノ職員ヲ置ク

大學長

教授
助教授
事務官
學生主事
助手
書記
學生主事補
司書
技手

第三條　大學長ハ勅任トス文部大臣ノ監督ヲ承ケ官立醫科大學一般ノ事ヲ掌リ所屬職員ヲ統督ス

大學長ハ高等官ノ進退ニ關シテハ文部大臣ニ具狀シ判任官ニ關シテハ之ヲ專行ス

第四條　教授ハ奏任又ハ勅任トス學生ヲ教授シ其ノ研究ヲ指導ス

第五條　助教授ハ奏任トス教授ヲ助ケテ授業及實驗ニ從事ス

第六條　事務官ハ奏任トス大學長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌理ス

第七條　學生主事ハ奏任トス大學長ノ命ヲ承ケ學生及生徒ノ指導監督ヲ掌ル

第八條　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ學術ニ關スル職務ニ服ス

第九條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第九條ノ二　學生主事補ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ學生主事ノ職務ヲ助ク

第九條ノ三　司書ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ附屬圖書館ニ於ケル圖書記錄ノ整理、保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス

第九條ノ四　技手ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第十條　大學長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第十一條　官立醫科大學ニ教授會ヲ置キ教授ヲ以テ之ヲ組織ス

大學長ハ教授會ヲ召集シ其ノ議長ト爲ル

第十二條　教授會ハ左ノ事項ヲ審議ス

一　學科課程ニ關スル事項

二　學生ノ試驗ニ關スル事項

三　學位ニ關スル事項

四　文部大臣又ハ大學長ノ諮詢シタル事項

第十三條　大學長ハ必要アリト認ムルトキハ助教授、學生主事又ハ講師ヲ教授會ニ列席セシムルコトヲ得

第十四條　官立醫科大學ニ附屬醫院ヲ置ク

附屬醫院ニ左ノ職員ヲ置ク

醫院長

藥局長

藥劑手

看護長

第十五條　醫院長ハ教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス大學長ノ監督ヲ承ケ醫院ノ事務ヲ掌理ス

第十六條　藥局長ハ奏任トス醫院長ノ監督ヲ承ケ醫院藥局ノ事務ヲ掌理ス

第十七條　藥劑手ハ判任トス藥局長ノ指揮ヲ承ケ醫院藥局ニ關スル職務ニ服ス

第十八條　看護長ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ醫院ニ於ケル看護ニ關スル職務ニ服ス

第十九條　千葉醫科大學、金澤醫科大學及長崎醫科大學ニ附屬藥學專門部ヲ置ク

專門部ニ教授及助教授ヲ置ク

教授ハ奏任、助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

專門部ニ主事ヲ置ク專門部教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

大學長ノ命ヲ承ケ專門部ノ事務ヲ掌理シ職員ヲ監督ス

第二十條　官立醫科大學附屬醫院及附屬專門部ノ專任職員ノ定員ハ別表ニ依ル

第二十一條　官立醫科大學ニ功勞アリ又ハ學術上效績アル者ニハ勅旨ニ依リ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトアルヘシ

第二十二條　官立醫科大學ニ附屬圖書館ヲ置ク

圖書館ニ圖書館長ヲ置ク教授又ハ助教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

圖書館長ハ大學長ノ監督ノ下ニ於テ圖書館ノ事務ヲ掌理ス

官立醫科大學職員定員表　（抄）

	大學長	教授	助教授	事務官	學生主事	助手	書記	學生主事補	司書	技手	附屬醫院
岡山醫科大學	一人	二十四人	二十一人	一人	一人	五十六人	十三人	一人	一人	二人	藥局長 藥劑手 看護長 一人 九人 十二人

⊙學位

學位令

勅令第二百號（大正九年七月六日）

第一條　學位ハ博士トス

第二條　學位ハ大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ授與ス

第三條　博士ノ種類ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　學位ヲ授與セラルヘキ者ハ大學學部研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シ論文ヲ提出シテ學部教員會ノ審査ニ合格シタル者又ハ論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ學部教員會ニ於テ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

第五條　學部教員會ハ前條ノ論文審査ニ付其ノ提出者ニ對シ試問ヲ行フコトヲ得

第六條　大學ニ於テ學位授與ノ許可ヲ申請スルトキハ論文及其ノ審査ノ要旨ヲ添付スヘシ

第七條　學位ヲ授與セラレタル者ハ授與ノ日ヨリ六月內ニ其ノ提出ニ係ル論文ヲ印刷公表スヘシ但シ學位授與前既ニ印刷公表セラレタルモノナルトキ又ハ文部大臣ニ於テ其ノ印刷公表ヲ相當ナラスト認メタルモノナルトキハ此限ニ在ラス

第八條　大學ハ論文ノ審査ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九條　學部教員會ニ於ケル論文審査ノ手續其ノ他學位ニ關スル規程ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條　學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ大學ニ於テ學位ニ關スル規程ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十一年勅令第三百四十四號學位令及博士會規則ハ之ヲ廢止ス

但シ舊令ニ依リ授與シタル學位ハ仍其ノ効力ヲ有ス

本令施行前論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シタル者ニ對シテハ舊令ニ依リ學位ヲ授與ス

舊令ニ依ル學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ文部大臣其ノ學位ヲ褫奪ス

岡山醫科大學學位規程

第一條　本學ニ於テ授與スル學位ハ醫學博士トス

第二條　本學研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シタルモノハ其ノ研究事項ニ就キ論文ヲ學長ニ提出シ學位ヲ請求スルコトヲ得

前項ニ該當セサル者ニシテ學位ヲ請求セントスル者ハ履歷書ヲ添ヘ論文ヲ學長ニ提出スヘシ

第三條　學位請求論文ハ自著一編(三通)トス但シ參考トシテ他ノ論文ヲ附加スルコトヲ得

論文ハ之ヲ返付セス

第四條　第二條第二項ニヨリ學位ヲ請求スル者ハ審査手數料金百圓ヲ納付スヘシ

既納ノ料金ハ之ヲ返付セス

第五條　提出セラレタル論文ハ學長之ヲ本學教授會ノ審査ニ附ス

第六條　本學教授會ハ審査ニ付セラレタル論文ニ就キ教授中ヨリ貳名以上ノ委員ヲ選定シテ之ヲ調査セシム但シ必要アリト認メタルトキハ助教授又ハ講師ヲ以テ委員ニ充ツルコトヲ得

調査ニ必要アル時ハ論文ノ譯文又ハ標本等ヲ提出セシメ場合ニ依リテハ試問ヲ行フコトアルヘシ

第七條　調査委員ハ一箇年以內ニ論文ノ要旨ヲ記錄シ調査ノ結果ヲ教授會ニ報告スルモノトス但シ特別ノ事情アル時ハ教授會ノ議決ニヨリ調査期間ヲ延長スルコトヲ得

第八條　學位授與ノ決定ヲ爲スニハ在職教授ノ三分ノ二以上出席シ無記名投票ニ依リ出席教授三分ノ二以上ノ贊成アルコトヲ要ス

海外旅行中ノ教授ハ前項ノ數ニ算入セス

第九條　本學ヨリ學位ヲ授與セラレタル者ニシテ其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アリタル時ハ學長ハ教授會ノ議決及文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消シ學位記ヲ還付セシム

教授會ニ於テ前項ノ議決ヲ爲スニハ在職教授ノ三分ノ二以上出席

シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ此場合ニモ準用ス

第十條　學位記ノ樣式左ノ如シ

學位記

道府縣
氏名

右者論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ本學教授會ハ之ヲ授與スヘキ學力アリト認メタリ仍テ大正九年勅令第二百號學位令ニ依リ玆ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

年　月　日

第　號

岡山醫科大學印

⊙官立大學長職務規程

文部大臣訓令（大正九年四月二十一日）

第一條　高等官ノ除服、出仕、暇願及高等官任地外居住、他官廳其ノ他ノ事業囑託ニ應スルノ願及高等官ヲ內地ニ出張セシムルハ大學長ノ判行ニ任ス

第二條　大學長ハ高等官ニ事務分課ヲ命スルコトヲ得

第三條　大學長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第四條　左ノ事項ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケテ後施行スヘシ

第一　學科課程ノ設定及變更ニ關スルコト

第二　規則ノ設定及變更ニ關スルコト

但シ既定規則ノ範圍內ニ於テ其ノ細則ヲ設クルハ此ノ限ニアラス

第三　授業料、試驗料其ノ他收入金ノ定率ヲ定ムルコト

第四　外國人ヲ雇入レ其ノ契約ヲ定メ若ハ契約期間內ニ雇ヲ止ムルコト

第五　歲入歲出豫算ニ依ルノ外新ニ義務ヲ負擔シ及權利ヲ棄却スルコト

第六　學科課程ニ關係シ又ハ規則ノ設定變更ヲ要スル事項ヲ條件トスル寄附ヲ受クルコト

第七　八日以上臨時休業スルコト

第八　右ノ外例規ナキ重大ノ事件ヲ處理スルコト

⊙官立大學教官ノ職務俸ニ關スル件

勅令第三百九十二號（大正十二年八月三十日）

（昭和六年五月二十七日勅令第百七號改正）

官立大學ノ教授及助教授ニハ本俸ノ外學科ノ種類職務ノ繁閑ニ從ヒ俸給トシテ職務俸ヲ給スルコトヲ得

教授ノ職務俸ハ年額千九百五十圓以下助教授ノ職務俸ハ年額千二百五十圓以下トス但シ職務俸ノ額ハ本俸ト合シテ五千三百五十圓ヲ本俸及年功加俸ト合シテ五千九百五十圓ヲ超ユルコトヲ得ス

附　則

本令ハ昭和六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リ職務俸ヲ受クル者ハ其ノ十分ノ九ノ額ヲ受ク但シ所定ノ最高限ヲ超ユルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ依リ計算スル金額圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

⊙帝國大學名譽教授官立大學名譽教授文部省直轄諸學校名譽教授陸軍名譽教授ノ待遇ニ關スル件

勅令第二十號（昭和六年三月二十五日）

帝國大學名譽教授、官立大學名譽教授、文部省直轄諸學校名譽教授、陸軍名譽教授及海軍名譽教授ハ勅任官ヲ以テ待遇ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大學長
事務官
學生主事

庶務課

課長事務官　中山孝一　靜岡
警備掛長兼病室掛長書記　田中琢麿　廣島
庶務掛長書記　大西英男　岡山

會計課

課長事務官　中山孝一　靜岡
出納掛長書記　小野義彦　岡山
用度掛長兼書記　福島種次郎　岡山
調理掛長書記　片岡英太郎　岡山

⊙岡山醫科大學職員

（昭和八年十二月一日現在）

醫學博士　田村於兎　福島
醫學士　中山孝一　靜岡
文學士　千輪清海　岡山

名譽教授

解剖學教室

教授 同 助教授 同 同 講師 助手 同 同

生理學教室

教授 助教授

技術課

監査掛長 書記 落合鯤一 千葉
書記 太田龜次郎 岡山
書記 大橋勇平 岡山
書記 横山留吉 岡山
書記 小坂哲二 岡山
書記 吉田政治 岡山

課長事務官 中山孝一 靜岡
第二設計掛長 書記兼技手 河野貫一郎 福岡
作業掛長兼管理掛長 技手 千葉幸一郎 東京
技手 三村立男 岐阜

學生課

課長 學生主事 千輪清海 岡山
學生主事補 福島種次郎 岡山

囑 學生主事補 小野義彥 岡山
醫學博士 上坂熊勝 岡山

醫學博士 八木田九一郎 大阪
醫學博士 敷波重治郎 石川
池上馨一 岡山
醫學博士 關正次 岡山
醫學博士 醫學博士 佐藤國男 兵庫
醫學士 佐藤幹 島根
醫學士 金津晴亮 島根
醫學士 西村虎夫 宮崎

醫學博士 生沼曹六 石川
醫學博士 林香苗 德島
（在外研究中）

生化學教室

講師　醫學博士　奥山美佐雄　岡山
助手　同　醫學士　小坂壽　岡山
同　醫學士　須藤吾之助　高知

教授　醫學博士　清水多榮　東京
助教授　醫學士　上代晧三　岡山
同　醫學博士　寺岡森太郎　廣島
助手　醫學士　牧野博　岡山
同　醫學士　山崎三省　廣島

細菌學教室

教授　醫學士　鈴木稔　東京
助教授　醫學士　香川榮　鳥取
助手　醫學士　久山正策　岡山

藥理學教室

講師　醫學博士　奥島貫一郎　愛媛
助手　醫學博士　高橋規浩　廣島
同　醫學士　黒田章夫　岡山
同　醫學士　橘捷夫　岡山

病理學教室

教授　醫學博士　田村於兎　福島
助教授　醫學博士　田部浩　廣島
同　醫學博士　濱崎幸雄　三重
同　玉川忠太　兵庫
助手　醫學士　菊澤隆尚　三重
講師　醫學士　小西信雄　廣島
助手　醫學士　中村俊雄　山口

衞生學教室

教授　醫學博士　緒方益雄　東京

講師　醫學士　大田原一祥　岡山
助手　同　醫學士　廣田照輝　山口
同　醫學士　湊次郎　山口

法醫學教室

教授　醫學博士　醫學士　遠藤中節　京都
助教授　醫學博士　中井良平　福岡
助手　醫學士　上野博　岡山
同　醫學士　廣本達吉　廣島

稻田內科學教室

教授　醫學博士　醫學士　稻田進　愛知
助手　醫學士　難波曠逸　岡山
同　醫學士　脇本正規　岡山

柿沼內科學教室

教授　醫學博士　醫學士　柿沼昊作　東京

助教授　醫學博士　醫學士　北山加二郎　和歌山
講師　醫學士　須賀廣太　岡山
助手　醫學士　谷口日出夫　岡山
同　醫學士　大塚蕃　岡山

泉外科學教室

教授　醫學博士　醫學士　泉伍朗　山口
助教授　醫學博士　醫學士　橋本亨　熊本
助手　醫學士　杉佐助　高知
同　醫學士　藤河武雄　廣島

津田外科學教室

教授　醫學博士　醫學士　津田誠次　鹿兒島
助教授　醫學博士　西山逸平　岡山
助手　醫學博士　醫學士　清水勝　京都
同　醫學士　橋本健　兵庫

産科婦人科學教室

教授　醫學博士　醫學士　安藤畫一　大分
助教授　醫學博士　熊谷藏之允　山口
助手　醫學士　矢島壽　長崎
同　醫學士　橋本清　岡山

皮膚科泌尿器科學教室

教授　醫學博士　醫學士　根岸博　東京
講師　醫學博士　醫學士　小池藤太郎　三重
助手　醫學士　中西正男　岡山
同　醫學士　大野慶文　京都

眼科學教室

教授　醫學博士　醫學士　畑文平　靜岡
助教授　醫學博士　醫學士　筒井德光　三重
講師　醫學博士　醫學士　松尾義雄　岡山

助手　醫學士　箕越中　廣島

耳鼻咽喉科學教室

教授　醫學博士　醫學士　田中文男　兵庫
助教授　醫學博士　醫學士　小田大吉　鳥取
助手　醫學士　桑原良一　岡山
同　醫學士　岡貞邦　岡山

小兒科學教室

教授　醫學博士　醫學士　好本節　大阪
助教授　醫學士　武田縫次　岡山
助手　醫學士　伊丹訓吾　岡山
同　醫學士　栗林太郎　大分

精神科學教室

教授　醫學士　林道倫　山形
教授　醫學博士　醫學士　大熊泰治　北海道
助教授

助手　醫學士　竹内道眞　岡山
同　醫學士　石島達　滋賀

レントゲン科

助教授　醫學士　武田俊光　福岡

⊙附屬醫院

醫院長　教授　醫學博士　醫學士　安藤畫一　大分
藥局長　藥學士　赤井左一郎　大阪
藥劑手、　吉田留次　岡山
同　中澤浩一　富山
同　中野國香　岡山
同　長谷川美善　岡山
同　片岡博夫　岡山
同　太田常市　廣島
同　筒井保　岡山

看護長　古谷野巖　岡山
同　秋山幸江　岡山
同　砂田サクヨ　廣島
同　渡邊ハナ　福島
同　伊賀龜代　岡山
同　武田賀壽惠　大阪
同　高見政惠　岡山
同　横山政子　岡山
同　山下ユキ　廣島
同　高槻貞子　岡山
同　谷口三江　岡山

⊙附屬圖書館

館長　教授　醫學博士　醫學士　遠藤中節　京都
司書　遠藤竹秋　岡山

⊙附屬將校

陸軍歩兵大佐　伊藤貞雄　新潟

陸軍歩兵少佐　大村省吾　廣島

⊙岡山醫科大學規則

第一章　學期及休業日

第一條　一年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ九月十日マデ

第二學期　九月十一日ヨリ十二月三十一日マデ

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日マデ

第二條　定期休業日左ノ如シ

春季休業　四月一日ヨリ同七日マデ

夏季休業　七月十一日ヨリ九月十日マデ

冬季休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マデ

日曜日

紀元節　二月十一日

春季皇靈祭　春分日

天長節　四月二十九日
秋季皇靈祭　秋分日
神嘗祭　十月十七日
明治節　十一月三日
新嘗祭　十一月二十三日
岡山醫科大學記念日　五月二日

第二章　授業學科目

第三條　本學ニ於テ授業スル科目及其ノ一週時間數左ノ如シ
但シ教授上特別ノ必要アルトキハ變更スルコトヲ得

學科目竝一週授業時數配當表

科目＼年別・學期別	第一年			第二年			第三年			第四年		
	一學期	二學期	三學期	一學期	二學期	三學期	一學期	二學期	三學期	一學期	二學期	三學期
系統解剖學	一六	一〇	七									

	組織學	解剖學					生理學		生化學		細菌學		藥理學	
		解剖學及組織學實習	顯微鏡用法	胎生學	局所解剖學	生理學	生理學實習	生化學	生化學實習	細菌學	細菌學實習	藥理學及處方學	藥理學實習
第一年 一學期	四	三回六	一	二	六	六	三	二					
第一年 二學期	三	三回六		二	六	六	二			四	二回四	二	
第一年 三學期	二	二回六		二				二回六		三	二回四	四	二回二
第二年 一學期		二回六		二	二回六				二回六	三		三	
第二年 二學期													
第二年 三學期													
第三年 一學期													
第三年 二學期													
第三年 三學期													
第四年 一學期													
第四年 二學期													
第四年 三學期													

病理學	病理學	病理學	衛生學	法醫學	內科學	內科學	內科學	內科學	外科學	外科學	外科學
病理學	病理組織學實習	病理標本示說	衛生學	法醫學	診斷學及實習	內科各論	臨牀講義	內科外來患者臨牀講義	外科總論	外科各論	外科臨牀講義
四											
四	四	一			三						
四	四	一			四	四					
四	二	一			二	四	四	二回六	二回六	三	四
四	二	一	一			四	四		△	二	四
四	二	一	一			四	四		△	二	四
四	二	一	一		二	四	四		△	二	四
四	二			二	二	四	四		△	二	四
				二	二		四		△	二	四

外科學	外科學	外科學	外科學	產科學婦人科學	產科學婦人科學	皮膚科學	皮膚科學	眼科學	眼科學	耳鼻咽喉科學	耳鼻咽喉科學
外科外來患者臨牀講義	繃帶實習	產科學婦人科學及臨牀講義	產科婦人科外來患者臨牀講義	皮膚科學及臨牀講義	皮膚科泌尿器科外來患者臨牀講義	泌尿器科學	眼科學及臨牀講義	眼科外來患者臨牀講義	檢眼鏡實習	耳鼻咽喉科學及臨牀講義	耳鼻咽喉科外來患者臨牀講義

	小兒科學			精神病學							
耳鼻咽喉科檢查法實習	小兒科學及臨牀講義	小兒科外來患者臨牀講義	種痘實習	精神病學及臨牀講義	精神病科外來患者臨牀講義	○醫學史	○醫事法制	○社會醫學	○物理的療法	總計	備考
										二九	學科中ノ○印ハ隨時トシ專門攻究者ニ依囑シテ開講スルモノトス △印ハ學生ヲ數組ニ分ツモノトス
										二六 實習同時數三六	
										二八 實習同時數五一〇	
										二二 實習同時數六一八	
										二〇 實習同時數五一二	
	一			一						二八 實習同時數二六	
	一			一		隨時				二九	
△	一			一						三〇	
	一	△		二	△					三二	
	二	△	△	二	△					二八	
	二	△		二	△					二四	

第四條　學生ハ解剖學生理學生化學細菌學藥理學及病理學ヲ學習シタル後ニ非サレハ臨牀講義ニ出席スルコトヲ得ス

第三章　入學在學休學退學轉學及除籍

第五條　入學ハ第一學期ノ始メニ於テス

第六條　本學ニ入學ヲ許可スヘキモノハ高等學校及學習院ノ高等料ニ於ケル理科卒業者タルヲ要ス

但シ入學志願者ノ數收容豫定數ヲ超過シタルトキハ選拔試驗ヲ行フ

第七條　前條ノ入學志願者ヲ收容シ猶缺員アル場合ニ限リ左ノ資格者ニ限リ記載ノ順位ニ依リ入學セシムルコトアルヘシ

一、帝國大學及官立大學ヲ卒業シタル學士

二、高等學校及學習院ノ高等科文科卒業者

三、大學豫科修了者

四、醫學專門學校醫學科卒業者ニシテ相當ノ學力アリト認メタル

者

五、本學ニ於テ試驗ヲ行ヒ高等學校高等科ヲ卒ヘタル者ト同等以上ノ學力アリト認メタル者

但シ試驗ハ之ヲ高等學校ニ委託スルコトアルヘシ

第八條　帝國大學醫學部及他ノ醫科大學々生ニシテ本學ニ轉學ヲ望ム者ハ缺員アル場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條　本學々生ニシテ退學シタル者再ヒ入學ヲ請フトキハ缺員アル場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　入學志願者ハ入學願書ニ履歷書體格檢查證及卒業又ハ修業證明書ヲ添ヘ二月十五日迄ニ學長ニ願出ツヘシ

前項ノ期限後ト雖モ尙缺員アル場合ニ於テハ四月五日迄願書ヲ受理スルコトアルヘシ

入學願書、履歷書及身體檢查證用紙ハ本學ヨリ之ヲ交付ス

第十一條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ宣誓ヲナシ學生名簿ニ署名シ戶

籍謄本壹通ヲ差出スヘシ

第十二條　學生疾病其ノ他ノ事故ニヨリ二箇月以上修學ヲ中止セントスルトキハ醫師ノ診斷書若クハ明細ナル理由書ヲ添ヘテ願書ヲ提出シ學長ノ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

第十三條　學生ニシテ陸海軍兵役ニ服スル者ハ其ノ現役又ハ召集中休學ヲ許可ス

第十四條　前二條ニヨル休學者ニシテ休學期間ト雖モ其ノ事故止ム時ハ願ニヨリ復學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十五條　休學ハ兵役ニ服スル場合ヲ除キ一年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事情アル者ニハ更ニ一年以內ノ休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十六條　學生ニシテ退學セント欲スルモノハ願書ヲ差出シ學長ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條　學生ニシテ他ノ大學ニ轉學セント欲スル者ハ其ノ理由ヲ

詳記シ學長ニ願ヒ出ツヘシ其ノ許否ハ兩學間ノ協定ニ依ル轉學ヲ許可セラレタルモノハ除籍ス

第十八條　在學八年ニ及ヒテ猶卒業セサル者ハ除籍ス休學期間ハ之ヲ算入セス在學期間ニハ他ノ醫科大學ニ於ケル在學年限ヲ通算スルモノトス

第十九條　前條ノ期間內ト雖モ疾病其ノ他ノ事故ニヨリ成業ノ見込ナシト認メタルトキハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第四章　試驗及卒業

第二十條　大學令第十條ニヨル試驗ハ左ノ科目ニ付左ノ時期ニ之ヲ行フ但シ教授會ノ議ヲ經テ本文ノ期間以外ニ試驗ヲ行フコトヲ得

解剖學	生理學	生化學
第二年第二學期初		
細菌學	藥理學	病理學
第三年第二學期初		
衛生學	法醫學	
第四年第三學期初		
內科學	外科學	産科婦人科學
皮膚科學		

眼科學	耳鼻咽喉科學	小兒科學
精神病學		

第四年第三學期中

第二十一條　學生ハ各科目ニ就キ規定ノ期間聽講及實習ヲ了シタル者ニ非サレハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第二十二條　病氣其ノ他止ムヲ得サル事故ニヨリ受驗ヲ延期セント欲スル者ハ醫師ノ診斷書又ハ其ノ理由書ヲ添付シ試驗前日迄ニ學長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第二十三條　試驗ハ當該科目ノ擔任教授之ヲ行フ但シ擔任教授事故アルトキハ他ノ教官若クハ講師ヲシテ之ニ代ラシムルコトヲ得

第二十四條　試驗ノ成績ハ五十點以上ヲ合格五十點未滿ヲ不合格トシ合格ヲ更ニ優、良、可ノ三等ニ分チ八十五點以上ヲ優八十五點未滿七十點以上ヲ良七十點未滿ヲ可トス

第二十五條　解剖學生理學生化學細菌學藥理學及病理學ノ試驗ニ合

格シタル者ニ非サレハ爾餘ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第二十六條　試驗ニ不合格トナリタル者又ハ受驗シ得サリシ者ハ同一學期內ニ於テ尙一回ノ再試驗又ハ追試驗ヲ受クルコトヲ得

第二十七條　前條ノ再試驗又ハ追試驗ニ不合格トナリタル者若クハ受驗シ得サリシ者ハ次年以後ノ試驗期ニ非サレハ受驗スルコトヲ得ス

但シ第四年ニ於ケル現定ノ試驗及再試驗又ハ追試驗ニ不合格トナリタル者若クハ受驗シ得サリシ者ハ特ニ次年第一學期ニ於テ受驗スルコトヲ得

第二十八條　四年以上在學シ規定ノ全受驗科目ニ合格シタル者ヲ卒業トシ之ニ卒業證書ヲ授與ス

第二十九條　前條ノ卒業者ハ醫學士ノ稱號ヲ用フルコトヲ得

第五章　試驗手數料入學料及授業料

第三十條　第六條但書第七條第五項ニヨリ試驗ヲ受クル者ハ試驗手數料トシテ豫メ金拾圓ヲ納付スヘシ

第三十一條　入學ヲ許可セラレタル者ハ入學料トシテ金拾圓ヲ納付スヘシ

第八條ニヨリ轉學ヲ許可セラレタル者及第九條ニヨリ再ヒ入學ヲ許可セラレタル者モ前項ニ準ス

第三十二條　授業料ハ一箇年金百貳拾圓トシ第一學期金四拾圓第二學期金四拾圓第三學期金四拾圓ニ分納セシム

但シ昭和四年三月三十一日以前ノ入學者ハ舊規程ニ依ル納期ハ別ニ之ヲ定ム

第三十三條　轉學シ退學シ除籍セラレタル者又ハ退學ヲ命セラレタル者ニモ其ノ學期ノ授業料ハ之ヲ徵收ス停學中ト雖モ授業料ヲ徵收ス停學ニ處セラレタル者ニハ其ノ期ノ授業料ヲ徵收セス

第三十四條　一期ヲ通シテ休學ヲ許可セラレタル者ニハ其ノ期ノ授

但シ休學者ニシテ中途復學シタルトキハ其ノ學期ヨリ之ヲ徴收ス

第三十五條　既納ノ料金ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返付セス

第三十六條　授業料納付ノ義務ヲ怠リタルトキハ講義實習ニ出席シ又ハ圖書ヲ閲覽スルコトヲ禁止シ其ノ情狀重キ者ハ之ヲ除籍ス

第六章　服裝

第三十七條　學生ハ本學所定ノ制服及制帽ヲ着用スヘシ

第七章　懲戒

第三十八條　學生ニシテ本分ニ悖リタル行爲アル場合ニハ學長ハ教授會ノ意見ヲ徴シ之ヲ懲戒ニ處ス

一、戒飭
二、停學
三、放學

第八章　外國學生

第三十九條　外國人ニシテ本學ニ入學セントスル者アルトキハ明治三十四年文部省令第十五號ノ定ムル所ニヨリ之ヲ許可ス

第四十條　外國學生ニシテ本學所定ノ試驗ニ合格シタル者ニハ本人ノ願ニ依リ學力ヲ檢定シ高等學校高等科卒業ト同等以上ト認メタルトキハ卒業證書ヲ授與スルコトヲ得

第四十一條　外國學生ニシテ高等學校高等科卒業程度ノ試驗ニ合格シタル者ハ普通學生トシテ入學ヲ許可ス

第四十二條　外國學生ニハ本學々生ニ關スル規程ヲ準用ス

第九章　專攻生

第四十三條　本學授業擔任者ノ指導ヲ受ケ特ニ專門學科ニ就キ研究セントスル者ハ專攻生トシテ入學ヲ許可ス

第四十四條　專攻生タラント欲スル者ハ願書ニ履歷書及卒業證書寫ヲ添ヘ指導者ヲ經テ願出ツヘシ

第四十五條　專攻生タルコトヲ得ル者ハ左記ノ一ニ該當スルコトヲ

要ス

一、大學卒業者

一、醫學專門學校卒業者

一、授業擔任者ニ於テ適當ノ學力アリト認メタル者

第四十六條　專攻期間ハ二箇年以內トス

但シ時宜ニヨリテハ延期ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十七條　專攻生ニハ願ニヨリ其ノ研究科目ニ付證明書ヲ附與ス

第四十八條　專攻生タルコトヲ許可セラレタル者ハ入學料トシテ金拾圓ヲ納付スヘシ

第四十九條　專攻生ハ研究料トシテ毎年金五拾圓ヲ納付スヘシ納期ハ別ニ之ヲ定ム

第五十條　專攻生自己ノ研究ニ要スル費用ハ教室ノ設備ニ附帶スルモノヽ外總テ自辨トス

但シ時宜ニヨリ特ニ研究材料ヲ給與スルコトアルヘシ

附　則

第五十一條　本規定ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ昭和七年三月三十一日以前ノ入學者ハ舊規程ニ據ル

⊙岡山醫科大學研究科規程

第一條　本學卒業者ニシテ研究科ニ入ラント欲スル者ハ其ノ研究事項ヲ具シ學長ニ願出ツヘシ學長ハ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可ス

第二條　本學卒業者ニアラサル者ニシテ研究科ニ入ラント欲スル者ハ研究事項ヲ具シ學業履歷書ヲ添ヘテ願出ツヘシ學長ハ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可ス

但シ時宜ニヨリテハ其ノ學力ヲ檢定スルコトアルヘシ檢定ヲ受クル者ハ入學檢定料金貳拾圓ヲ前納スヘシ

既納ノ料金ハ如何ナル事由アルモ之ヲ返付セス

第三條　研究科學生ノ指導ハ學生ノ希望ヲ斟酌シ教授會ノ議ヲ經テ學長ノ選シタル教官之ヲ擔任ス

第四條　研究科學生ノ在學期間ハ二箇年トス

研究必要ニヨリ引續キ在學セント欲スル者ハ當該教官ヲ經テ學長

ニ願出ツヘシ學長ハ教授會ノ議ヲ經テ一箇年毎ニ之ヲ許可ス

第五條　研究科學生在學中ハ學長ノ許可ヲ得ルニ非ラサレハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第六條　研究科學生ハ指導教官及擔任教官ノ承認ヲ得テ本學ノ講義實習及實驗ニ出席スルコトヲ得

第七條　研究科學生ハ研究料トシテ一箇年毎ニ金百圓ヲ納付スヘシ

但シ昭和七年三月三十一日以前ノ入學者ハ舊規程ニ據ル

研究科學生ニシテ兵役ニ服スル者ニハ其服役中研究料ヲ免除ス

但シ中途退學又ハ兵役服務中ト雖モ既納ノ料金ハ之ヲ返付セス

第八條　研究科學生ニシテ學術研究旅行ヲ要スルトキハ教授會ノ議ヲ經テ旅費日當ヲ補給スルコトアルヘシ

第九條　研究科學生ハ在學滿期ニ至ルトキハ其ノ研究成績ヲ指導教官ヲ經テ學長ニ報告スヘシ

第十條　研究科學生ニシテ學位ヲ得ントス欲スル者ハ在學二年以上ヲ

經タル後其ノ研究事項ニ就キ論文ヲ學長ニ提出スヘシ學位ヲ請求セサルモ相當ノ研究ヲ爲シタリト認ムル者ニハ學長ハ證明書ヲ附與スルコトアルヘシ

第十一條　研究科學生ニシテ教授會ニ於テ研究ノ實ナシト認メラレタルトキハ學長ハ之ニ退學ヲ命ス

第十二條　研究科學生ハ本規程ノ外總テ本學ノ學則ニ從フモノトス

第十三條　研究科學生中學力優秀志操堅實ナル者ハ特選給費學生トナシ學資ヲ給與スルコトアルヘシ

第十四條　特選給費學生ノ學資ハ一人月額金七拾五圓以內トシ二年間之ヲ給ス

但シ必要アルトキハ教授會ノ議ヲ經テ更ニ期限ヲ定メテ之ヲ繼續スルコトヲ得

特選給費生ニハ研究料ヲ徵收セス

第十五條　特選給費生ニシテ其ノ資格ニ缺クル者アルトキハ教授會

ノ議ヲ經テ學長之ヲ免ス

附　則

第十六條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

◉岡山醫科大學副手規程

第一條　岡山醫科大學ニ副手ヲ置ク無給トス

但シ時宜ニヨリテハ有給ト爲スコトアルヘシ

第二條　副手ハ研究科學生、學士若クハ學士ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノニ限リ學長之ヲ囑託ス

第三條　副手ハ教授及助教授ノ指揮ヲ承ケ學術又ハ診療ニ關スル職務ニ服ス

附　則

第四條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

⊙岡山醫科大學附屬醫院規程

第一條　附屬醫院ハ醫學ノ教授及研究ノ目的ヲ以テ患者ノ診療ヲナス所トス

第二條　患者ヲ分チテ入院患者及外來患者ノ二種トス

第三條　入院患者ハ官費及私費トス

但シ私費ヲ以テ治療ヲ受ケント欲スル者モ其ノ病症ニヨリテハ之ヲ許可セサルコトアルヘシ

第四條　外來患者ハ官費及私費トス

但シ官費患者ノ種類及數ハ時宜ニヨリ之ヲ定ム

第五條　本規定施行ニ關スル細目ハ學長之ヲ定ム

附　則

第六條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

⊙岡山醫科大學附屬醫院産婆看護婦養成科規則

第一條　岡山醫科大學附屬醫院ニ産婆看護婦養成科ヲ置ク

第二條　本科ハ産婆看護婦ニ必要ナル學科技藝ヲ教授スルモノトス

第三條　修業年限ハ二箇年トシ一年ヲ三學期ニ分ツ

第四條　授業科目左ノ如シ

一、修身
一、衛生法規
一、物理化學大意
一、解剖學
一、生理學
一、衛生學
一、藥物學
一、調劑學
一、藥品取扱法

一、一般看護法
附 死後ノ處置
一、內科看護法
附 治療介補傳染病看護法
一、外科看護法及繃帶學
一、產科婦人科看護法
一、皮膚科泌尿器科看護法
一、眼科看護法
一、耳鼻咽喉科看護法
一、小兒科看護法及初生兒疾病ノ大意
一、精神科看護法
一、產婆學
一、救急療法及患者運搬法
一、防腐法制腐法消毒法及醫療器械ノ大意
一、國語
一、作文

一、外國語
一、家事
一、裁縫
一、體操
一、音樂

第五條　生徒ハ實習ノ爲メ本院內ニ勤務スルモノトス

第六條　休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

日曜日、大祭祝日、地久節、夏季休業(八月一日ヨリ同月三十一日迄)冬季休業(十二月二十五日ヨリ翌年一月七日迄)

第七條　生徒ノ入學期ヲ每年四月トス

第八條　入學ヲ許可スヘキモノハ左記各號ノ資格ヲ有スル女子ニシテ入學試驗ニ合格シタルモノニ限ル

一、品行端正身體健全ナルモノ

一、年齡滿十五年以上三十年以下ニシテ配遇者ナク且家事ニ係累ナ

キモノ

一、高等小學校ヲ卒業シタルモノ若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ

第九條　生徒ハ之ヲ給費トシ月手當前學年間ハ金拾五圓後學年間ハ金拾八圓ヲ支給シ且作業服ヲ貸與シ院內ニ宿泊セシム

但シ食費及所用文具書籍寢具等ハ自辨トス

第十條　入學志願者ハ第一號書式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

第十一條　入學試驗ハ左ノ科目ニ就キ高等小學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

一、讀方　二、作文　三、算術

第十二條　生徒入學ノ許可ヲ得タルトキハ第二號書式ニ依リ誓約書ヲ提出スヘシ

保證人ハ男子ニシテ身元確實ナル成年以上ノ戶主二人トシ內一名ハ岡山市內若ハ附近町村ニ居住スルモノタルヘシ

第十三條　生徒ハ總テ醫院ノ規則ヲ遵守シ上長ノ指揮ニ從フヘシ

第十四條　試驗ハ進級卒業ノ二種トシ第一學年ノ終リニ進級試驗ヲ第二學年ノ終リニ卒業試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタルモノニハ第三號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

第十五條　試驗ノ成績ハ各科目百點ヲ以テ最高點トシ一科目四十點以上平均六十點以上ヲ以テ及第トス

第十六條　生徒ニシテ成業ノ見込ナキモノ又ハ不都合ノ行爲アルモノニハ退學ヲ命ス

第十七條　生徒ニシテ中途退學ヲナスモノ若ハ退學ヲ命セラレタルモノ又ハ卒業後第十八條ノ義務ヲ盡サヽル者ハ其ノ情狀ニ依リ在學中支給シタル學資ノ全部又ハ其ノ幾分ヲ償還セシムルコトアルヘシ

第十八條　生徒ハ卒業ノ日ヨリ滿二箇年間本院ノ看護婦トシテ勤務スル義務アルモノトス

但シ勤務中ハ成規ノ給料ヲ支給ス

附　則

第十九條　昭和三年三月以前ニ入學シタル生徒ニ對シテハ前條ヲ適用セス

前項生徒ハ卒業ノ日ヨリ滿一箇年間本院ノ看護婦トシテ勤務スル義務アルモノトス

但勤務中ハ成規ノ給料ヲ支給ス

第一號書式

入　學　願

私儀貴院産婆看護婦生徒志願ニ付御試驗ノ上入學御許可被成下度履歷書及戸籍謄本相添ヘ此段相願候也

本　籍
現住所
族籍戸主又ハ誰何女
本　人　何　某印

年　月　日

本人ハ身元確實ナル者ニ相違無之仍テ保證候也

本　籍
現住所
族籍　職業
保證人　何　某印

岡山醫科大學附屬醫院長何某殿

履歴書

學業

一、何年何月何日何學校ニ入リ何年何月何日ヨリ何某ニ就キ何學修業
一、何年何月何日何學校ニ入リ何年何月何日卒業

業務

一、何年何月何日何業ニ就キ月俸又ハ日給何程
一、何年何月何日何々ニ依リ依願免職等
一、何年何月何日何々ノ故ヲ以テ受賞

右ノ通相違無之候也

年月日

何某

右

何某印

第二號書式

誓約書

今般貴院産婆看護婦生徒ニ御採用相成候ニ就テハ御規則堅ク相守ルヘキハ勿論在學中某一身上ニ係ル事件ハ保證人兩名ニ於テ一切措辨致且萬一在學中ノ學資辨償ヲ命セラルヽ場合連帶ヲ以テ其ノ義務ヲ果スヘク仍テ誓約候也

本籍
現住所
族籍 戸主又ハ誰何女
職業
本人 何

年月日

本籍
現住所
族籍
職業
保證人 何

某印
某印

本籍
現住所
族籍　職業　保證人　何

岡山醫科大學附屬醫院長何某殿

第三號書式

卒業證書

族籍　何　某

右ハ本院所定ノ産婆學看護學ヲ修メ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年　月　日生

年　月　日

岡山醫科大學附屬醫院長官位勳爵　氏　名　印

◉附屬圖書館

⊙岡山醫科大學附屬圖書館規程（大正十一年四月一日）

第一條　圖書館ハ本學所屬ノ圖書ヲ處理シ又ハ本學ニ委託セラレタル圖書ヲ保管スル所トス

第二條　圖書館ニ閱覽室ヲ設ケ各科共用ノ圖書其ノ他ヲ陳列シ閱覽ニ供ス

第三條　本學各教室ニ於テ備付ヲ要スル圖書ハ該教室主任教授之ヲ管理ス

第四條　圖書ヲ借受ケテ携出シ得ルモノハ本學職員、研究科學生及專攻生ニ限ル但シ借受冊數ハ壹名拾冊ヲ超過スルコトヲ得ス

借用者轉職又ハ退職ノ際ハ直ニ其ノ圖書ヲ返納スヘシ

第五條　圖書ヲ借受ケ携出セントト欲スル者ハ所定ノ用紙ニ所要ノ記

入ヲナシ之ヲ係員ニ提出スヘシ

本學各教授保管ノ圖書ニ就キテモ亦同シ

第六條　圖書貸出期間ハ二十日以內トス

第七條　貸出圖書ハ期間內ト雖モ每年七月一日ヨリ十日迄ニ一旦返納スヘシ但シ必要アルトキハ臨時返戻ヲ要求スルコトアルヘシ

第八條　閱覽室ニ於テ圖書ヲ閱覽セント欲スル者ハ借覽票ニ記入シテ係員ニ提出シ閱覽終リタルトキハ直ニ之ヲ返付スヘシ

閱覽時限ハ隨時之ヲ揭示ス

第九條　本學職員及學生以外ノ篤志研究者ニシテ圖書ノ閱覽ヲ請フ者アルトキハ圖書館長ニ於テ許可ヲ與フルコトアルヘシ但シ閱覽手續ハ前條ニ依ル

第十條　圖書閱覽者ハ本規程ヲ遵守シ又ハ室內ニ於ケル揭示事項及係員ノ指揮ニ從フヘシ

第十一條　諸官廳學校又ハ本學職員以外ノ者ヨリ圖書借受ノ照會ア

ル際ハ圖書館長ハ館內ノ圖書ニ限リ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ許可ス但シ其ノ際所要ノ圖書及借用期間(二十日以內)ヲ記入セル借用證書ヲ事務室ニ提出スヘシ

第十二條　閱覽者又ハ借用者ニシテ其ノ圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ同一圖書ヲ以テ辨償セシム但シ時宜ニヨリテハ代金ヲ以テ之ヲ辨償セシメ或ハ修繕費ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第十三條　本學各教室ニ保管セル圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタル場合ハ保管者ヨリ始末書ヲ提出スヘシ而シテ其ノ事由ニヨリテハ前條ヲ適用スルコトアルヘシ

附　則

第十四條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

⊙岡山醫科大學奬學資金規程

第一條　本學々生及本學ニ於テ研究ニ從事スル者ニ對シテ奬學ノ爲メニ資金ヲ寄附セントスル者アルトキハ之ヲ許容スルコトアルヘシ

第二條　奬學資金ニハ寄附者ノ名義ヲ附スルコトヲ得

第三條　寄附者ハ其ノ資金ニ對シ一定ノ條件ヲ附スルコトヲ得

寄附者ニ於テ一定ノ指定ヲ爲サヽルトキハ教授會ノ議ヲ經テ學長之カ支辨ノ途ヲ定ム

第四條　貸費及給費等ニ關スル細目ハ別ニ之ヲ定ム

奬學資金

寄附者氏名	寄附年月日	寄附金額	目的
曾思芳	大正四年六月十七日	四分利公債證書額面二千三百圓	利子ヲ本學學生奬學ノ資ニ充ツルモノトス
上坂熊勝	大正十五年十一月二十日	五分利公債證書額面二千圓	利子ヲ解剖學研究ノ資ニ充ツルモノトス

岡山醫科大學學生奬學資金貸與規程

第一條　本學學生ニシテ學資ノ支辨困難ナル者ニハ本規程ニ依リ詮衡ノ上學資ヲ貸與ス

第二條　貸費ヲ受ケント欲スル者ハ毎年二月末日迄ニ第一號書式ノ願書ニ左記書類ヲ添附シ之ヲ學生課ニ提出スヘシ但シ時宜ニ依リ他ノ時期ニ於テモ出願ヲ許可スルコトアルヘシ

一、市區町村長ノ證明セル第二號書式ノ家狀書

二、貸費ヲ受ケント欲スル一箇年最少金額及學資ノ支辨困難ナル事情ヲ詳記セル事由書

三、戸籍謄本

第三條　貸費ヲ受クヘキ者及其ノ金額ハ學長之ヲ決定ス

第四條　貸費ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ルモノトス

第五條　貸費ヲ許可セラレタル者ハ十日以內ニ保證人連署ノ上第三號書式ノ誓約書ヲ差出スヘシ

第六條　前條ノ保證人ノ內一人ハ成年者ニシテ岡山縣又ハ附近ニ居住シ直接國稅年額拾圓以上ヲ納ムル者ニ限ル

保證人死亡シ又ハ轉居若クハ資產ヲ失ヒタルニ因リ保證人タル資格ヲ失ヒタルトキハ遲滯ナク新ニ保證人ヲ立テ第四號書式ノ屆出ヲ爲スヘシ

第七條　貸費ヲ受クル者ニシテ學業極メテ不良ナルトキ又ハ學生ノ本分ニ悖ル行爲アリタルトキ及休學、除籍又ハ退學シタルトキ若クハ兵役ニ服スル爲召集セラレタルトキハ貸費ヲ停止シ又ハ取消ス前項以外ノ場合ニ於テモ學長ハ貸費期間中貸費金額ヲ增減スルコトヲ得

第八條　貸費ヲ受ケタル者ハ卒業後滿一箇年ヲ經過シタル月ヨリ貸費ヲ受ケタル月數ニ二倍スル期間內ニ於テ月賦ヲ以テ貸與金ヲ均等返納スヘシ但シ一時ニ全額ヲ返納シ又ハ期限前ヨリ返納シ始ム

ルコトヲ得

第九條　已ムヲ得サル事由ニ依リ貸費返納ノ延期ヲ願ヒ出ツルトキハ詮議ノ上學長之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ願書ニハ其ノ事由ヲ證明スルニ足ル書類ノ添附ヲ要ス

第十條　第七條ニ依リ貸費ヲ取消サレタル者ハ卽時ニ貸費全額ヲ返納スヘシ

第十一條　貸費ヲ受ケタル者死亡シ又ハ不治ノ疾病ニ罹リタルトキハ願ニ依リ學長ハ貸費ノ全部又ハ一部ノ返納ヲ免除スルコトアルヘシ

第十二條　本規程ノ外寄附者ニ於テ別段ノ條件ヲ附シタルトキハ其ノ條件ニ依ル

（第一號書式）

學資貸與願

家計上ノ都合ニ依リ學資支辨ニ差支候ニ付奬學資金借用致度別記家狀書竝事由書戸籍謄本相添ヘ保證人連署ヲ以テ此段相願候

年　月　日

本籍
現住所
戸主何某續柄
第　年級　學生　何
本籍
現住所
保證人（右學生ノ親權者、親權者無キトキハ其ノ他ノ者）　何　某㊞

岡山醫科大學長　殿

（第二號書式）

家狀書

府市町
縣郡村　番地　何　某

一、戸主職業　一、所得稅（一箇年）　圓
一、家族人員　一、地租（一箇年）　圓
一、就學人員　一、其他諸稅（一箇年）　圓
一、傭人人員　一、動產（公債證書、株券額面金額、時價）　圓
一、不動產
家屋　坪
土地
宅地　坪
田畑　坪
原野　坪
山林　坪

右本人ノ家狀前記ノ通リ相違無之候也

年　月　日

府市町
縣郡村長

（第三號書式）

收入印紙

誓約書

一金　圓也　內譯　授業料　金　圓
學友會費　金　圓
毎月　金　圓宛

拙者儀今般昭和　年度奬學貸費生ニ御選定相成頭書ノ通拜借可致候ニ就テハ岡山醫科大學學生奬學資金貸與規程ヲ遵守シ決シテ違背スルコト無ク誠實ニ其ノ義務ヲ履行可仕此段誓約候也

年　月　日　學生　何　某　印

右何某儀今般貴學奬學貸費生ニ御選定相成候ニ就テハ同人ニ於テ萬一貸費金返納ヲ怠リ候節ハ拙者等ニ於テ無遲滯代納可仕此段誓約候也

府市町
縣郡村　番地
保證人（學資貸與願書ニ署名セル保證人）　何　某　印

府市町
縣郡村　番地
保證人（第六條ノ資格アル者）　何　某　印

岡山醫科大學長　殿

前記保證人　ハ當市區町村ニ居住シ直接國稅年額何圓ヲ納ムル者ニ相違無之事ヲ證明ス

年　月　日

府市町
縣郡村長

（但シ市町村長ノ證明ハ別紙トナスコトヲ得）

（第四號書式）

保證人變更願

今般奬學貸費ニ關スル誓約書中ノ保證人何某
メテ何某ヲ保證人ト相定メ誓約書記載ノ義務一切ヲ繼承履行可致保證人連署
此段及御屆候也

年　月　日

府縣　學生　何　某㊞
市郡　町村　番地
保證人　何　某㊞
府縣　市郡　町村　番地
保證人　何　某㊞

岡山醫科大學長　殿

前記保證人何某ハ當市區町村ニ居住シ直接國稅年額何圓ヲ納ムル者ニ相違無之事ヲ證明ス

年　月　日

府縣　市郡　町村　長

學生

（昭和五年入學）

四年級（四〇）

（印ハ陸軍依託學生　△印ハ海軍依託學生）

石原貫一	岡山	石原德春	岡山
西井弘之	岡山	西村定重	兵庫
大道峯雄	大阪	大上亨	和歌山
織田元一郎	大分	△渡邊翠	廣島
吉岡堅二	岡山	芳野俊五	東京
武內暢	高知	竹內榮次郎	愛媛
大門周治	大阪	中村眞太郎	岡山
難波政士	岡山	長野曠	岡山
久山謹一	岡山	倉重晉	香川
安井正俊	愛媛	松本孝雄	岡山
藤井敏夫	山口	黃嫣福	臺南
○栗屋一步	廣島	安藤秀夫	三重
佐藤直泰	岡山	佐藤義信	山口
坂本實三	和歌山	坂中只一	京都
木村敏三	岡山	木屋正文	三重
新宅哲夫	廣島	澁谷三郎	高知
伊藤誠爾	岐阜	伊藤巖三	重
堀正澄	京都	登坂清	山口
奧雅之	兵庫	岡部政之	廣島
勝山榮	岡山	吉野啓三	島根
高橋勳	廣島	高原章夫	岡山
谷正男	岡山	田村勇	兵庫
中村德三郎	德島	中村熊三	岡山
鳴海岩雄	青森	野間安則	愛媛
山本幹爾	岡山	久保一正	岡山
前田哲夫	岡山	安岡準三	高知
有松龍一	岡山	青木潤次	岡山
佐藤達雄	岡山	佐藤信也	岡山
齋藤實	岡山	佐藤次文	岡山
澁田金一	岡山	榊原秀夫	神奈川
宮地重樹	廣島	北山三郎	岡山
菱木高司	千葉	平木潔	岡山

久富英男京都　平岡源次郎廣島　○森　茂樹岡山　杉山五郎岡山
杉山俊之福岡

三年級（昭和六年入學）

△伊崎碌郎福井　伊賀安男岡山　井上　佐岡山　岩崎武一大阪
池宗逸治岡山　石川　博廣島　○泉　一康福岡　林　太郎和歌山
原　良太郎廣島　西原一二岡山　新本勇夫廣島　長田敏樹兵庫
額田須賀夫岡山　大田可也山口　大伴重治東京　渡邊　武岐阜
渡邊武雄愛媛　○河田正雄岡山　川崎敏男岡山　萱田靜海千葉
柿澤達彥兵庫　加來義人福岡　吉村久雄愛媛　高田二郎岡山
高尾秀一香川　高井茂生山口　田村誠彥大阪　田中屋久吉山口
武內豪一岡山　武居繁彥山口　谷　耕一三重　橘　英基愛媛
中川勵三廣島　中井周一大阪　那須　操岡山　難波善次郎岡山
六車清茂香川　向畑十四郎和歌山　植木幹二岡山　浦上敏明岡山
宇都宮三涉愛媛　野村　晋東京　熊谷太郎長野　桑原　玄岐阜
山崎義節高知　山末一雄山口　安原元藏岡山　八幡敏夫大阪
松浦祐一香川　松本朝夫東京　藤原拓土岡山　藤井孝行福井
福島敏夫鳥取　福原尙文兵庫　小林本長福井　小橋　成岡山
小山綾夫岡山　兒玉　孜大分　吳　登山臺中　赤木五郎岡山
淺黃由喜雄山形　佐藤　玄岡山　佐藤寬二岡山　北浦孝一鳥取
湯淺正雄島根　宮崎正直熊本　宮永正義宮崎　宮地稻吉高知
三原勝三郎島根　水沼道勝愛媛　繁定光治岡山　志水　清岡山

正垣　東兵庫　平本憲雄廣島　廣瀨眞治京都　○廣瀨長男高知
東　貞雄三重　日並　孟岡山　日淺靜逸愛媛　森　富士雄三重
砂田輝武富山

二年級（昭和七年入學）

伊賀忠博廣島　伊庭喬樹廣島　伊藤籌彥京都　石黑一二愛知
石原豐次岡山　井坂英雄岡山　井出守義廣島　井野昌治千葉
橋本眞平岡山　原　廣三岡山　○保崎伊三郎岡山　戶部一郎岡山
土居　清廣島　龍治好道岡山　奧田觀土岡山　大川富雄大阪
大田義夫岡山　和田雅之岡山　金澤六郎兵庫　笠原　昇福岡
甲斐太郎岡山　吉田繁男岡山　吉田道孝鳥取　吉原政夫鹿兒島
高見信三岡山　高野雄二富山　田房松太郎愛媛　田尻　保岡山
谷　正志岡山　津田次郎山口　鶴見義夫岡山　中島節夫岡山
村本　昇德島　○內田眞二岡山　黑川孝一滋賀　桑原　正岡山
山下　爾岡山　山下敬三香川　山崎　孟鳥取　山根　啓島根
山本　晋德島　山元新太郎鹿兒島　矢野俊男香川　前田犬千代高知
前田和之兵庫　益澤　博愛媛　藤本忠雄廣島　藤山杏平岡山
藤田　茂兵庫　舟木文夫兵庫　河野　實香川　河野弘二大阪
河本悅二廣島　黃　乾泰臺灣　高坂英五郎秋田　近藤佐武郎廣島
五島　洋東京　赤塚豪男三重　赤塚謹一兵庫　淺野靜男岡山
淺山秀夫京都　秋山賴光廣島　崔　聖東朝鮮　澤　敏彰鳥取
里村　隆大阪　佐々木英雄鳥取　木戶幸雄鳥取　木下直幹兵庫

木村勉兵庫　岸村彌六三重
三浦久也島根　三船獻一德島
人見一夫岡山　平松義忠岡山
望月策夫廣島　杉原正毅岡山

一年級（昭和八年入學）

池田利右衛門岡山　池田薰廣島
生田憲章德島　板倉順千葉
西崎勝兵庫　兒子勵夫岡山
富山典信岡山　陳双祿臺灣
小川健次愛知　小笠原武島根
岡田要福岡　奥島芳夫愛媛
神山幸俊愛媛　加藤正信福井
○高山義武岡山　高原劍二郎兵庫
田村一馬兵庫　武市重雄岡山
津田睦男和歌山　露木貞文神奈川
中村馨岡山　中川美雄廣島
村上正次鳥取　占部宗近廣島
黒山眞吾東京　山上進東京
山根一雄島根　安田勇造岡山
松田芳郎宮崎　松田知二岡山
松岡健雄山口　松尾節司廣島

三好幸三岡山　三島利雄廣島
宮代英治郎和歌山　椎木悌二山口
廣中鹿二愛知　森本信雄和歌山
末永邦思山口　鈴木幸夫岡山

井上薰兵庫　石井清治兵庫
早石格京都　林富士郎岡山
別府寧岡山　德久克己高知
陳景彬臺灣　近光正岡山
小野雄啓岡山　大重彌吉岡山
渡邊涉島取　數田勇廣島
勝田斌靜岡　横田俊彦兵庫
龍口一雄廣島　瀧木讓島取
谷豐岡山　宅間恒治愛知
辻田源伍岡山　中村泰太阪
中里恒夫山形　長尾茂兵庫
野口茂久高知　黒坪正喜福岡
谷章一岡山　田正雄兵庫
安水仁司兵庫　矢部思孝岡山
松井健三廣島　松香孝章岡山
間野思衛岡山　前田武和和歌山

藤山一章吾岡山　藤田半三郎岡山
遠藤巖島根　寺島四郎岡山
眞田實廣島　澤田三郎愛知
三宅義夫岡山　森本正浩高知
鈴木清愛知　須賀木一兵庫

研究科（七人）

藤本遵廣島　福岡武一兵庫
朝田直猪高知　齋藤勉靜岡
吉良吉高知　橘高圭三岡山
森山章司岡山　○鈴木純一郎岡山
△菅清一岡山

竹田治海廣島　△西田實雄廣島
龜井俊夫廣島　○葛城雷次郎福岡

遠藤修一岡山
河村謙一岐阜

專攻科（一二四人）

△中村博鄉和歌山

西崎武亥一岡山　城義彰山口
小川愛輔山口　深瀨隆彥岡山
藤原角一岡山　深井昇平岡山
河田豐岡山　沖井礦吉廣島
佐藤政夫岡山　渡邊武香川
田中達福岡　藏本貢廣島
丸山忍新潟　佐藤義敏兵庫
山口龍契岡山　岩藤政太岡山
秋本運旭岡山　日域旭丸廣島
井上一雄兵庫　大森操大阪
富岡諒一岡山　下山丈夫岡山

岡順二和歌山　中富和夫德島
田邊郁郎岡山　荒田一郎山口
吉田千東長崎　河崎標也岡山
安原節太郎兵庫　藏本常雄廣島
渡邊武香川　保井彥三郎和歌山
大橋要人岡山　平松啓一岡山
岩藤政太岡山　竹本巖廣島
熊井孝三山口　山口近義奈良
森下亮善岡山　山下賢範岡山
菅龍正廣島　角恭岡山
己斐言廣島　藤井昌展三重

岡村榮雄　長崎
前田圭三　兵庫
園部和男　岡山
根岸顯藏　長野
宇野善一　岡山
田村眞一郎　山口
清水伸　岡山
水野知文　廣島
友澤辰次郎　兵庫
渡邊嘉一郎　岡山
守屋千代野　岡山
藤見忠彥　德島
森六朗　岡山
田井稔　香川
結城英夫　島根
森脇忠勇　島根
藏本積　廣島
河原省平　岡山
福本清　兵庫
憤上順三　廣島

丸山正　熊本
杉本徹　岡山
赤枝守一　岡山
中村武　山口
芦刈秀藏　和歌山
高井禎道　山口
橫山光永　兵庫
安本和夫　佐賀
勝山薰　岡山
市村丑雄　岡山
橫山元德　岡山
田中傑　兵庫
前田純史　兵庫
富永覺　兵庫
進藤斧吉　岡山
森岡雄太郎　香川
結城昌興　島根
磯野隣夫　香川
太田實雄　鳥取
齋藤義次　岡山

近藤寅夫　德島
小泉道德　鳥取
山口梁　岡山
桑原一郎　香川
弘田克平　高知
三木成章　兵庫
木下武男　大阪
長谷川卓郎　廣島
立石力　長崎
桂直義　香川
淨田勝遒　香川
京極一久　廣島
竹內信夫　鹿兒島
安積一郎　兵庫
丸朔　岡山
三宅愼治　岡山
南部卓夫　廣島
太田克　岡山
水野文次郎　福島
倉智增夫　兵庫
橋本政一　兵庫

伊達富久　岡山
福本武雄　兵庫
半田稔　兵庫
小野哲二　岡山
喜多島健麿　岡山
辻岡新作　山口
土谷剛治　廣島
山田一良　山口
清谷譯　岡山
多田隈建雄　熊本
川崎祐宣　鹿兒島
佐藤喬　岡山
沖野勝治　廣島
折島整　兵庫
金岡英雄　岡山
三木良定　兵庫
西岡十一　岡山
光田利三郎　岡山
齋藤義次　岡山
井貞八　岡山

學生道府縣別表

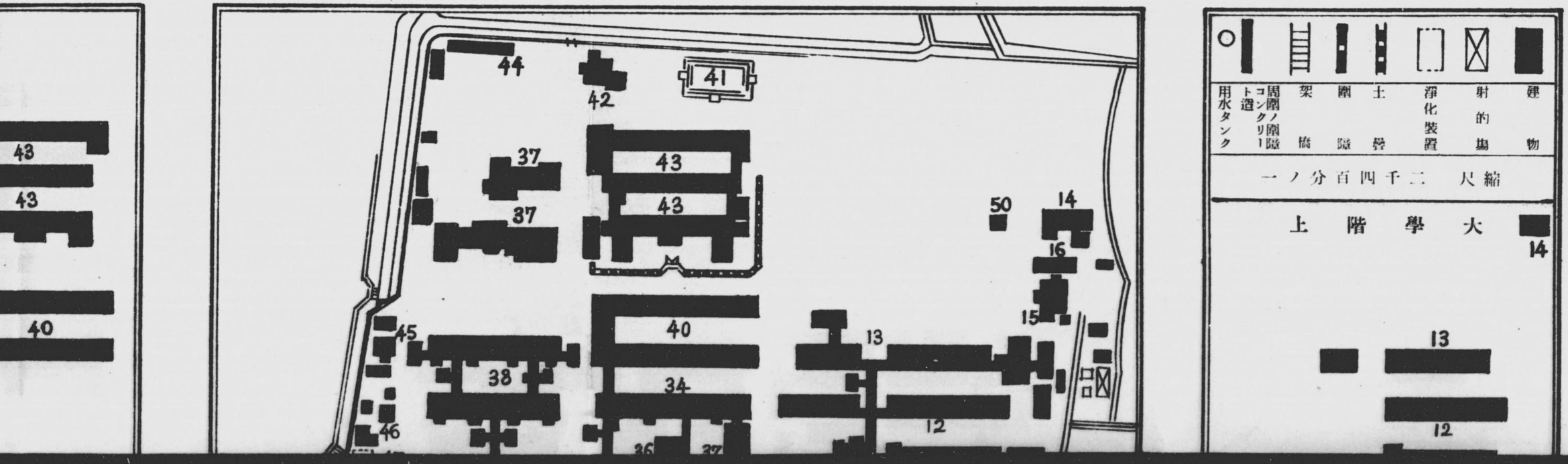
道府縣名	人員	道府縣名	人員	道府縣名	人員	道府縣名	人員
東京府	七	京都府	一一	大阪府	六	朝鮮	一
神奈川縣	二	兵庫縣	三	千葉縣	二五	計	三一八
長野縣	一	青森縣	二	山形縣	一		
福井縣	四	富山縣	一〇	鳥取縣	二		
宮崎縣	二	岡山縣	一〇	廣島縣	一〇七		
山口縣	一三	和歌山縣	八	島根縣	八		
三重縣	八	愛知縣	六	靜岡縣	六		
滋賀縣	一	岐阜縣	三	香川縣	三		
愛媛縣	一三	高知縣	一二	福岡縣	一二		
大分縣	二	熊本縣	一	德島縣	一		
鹿兒島縣	二	秋田縣	一	臺灣	一		

岡山醫科大學平面圖

昭和八年十二月一日現在

地坪　四萬五百六拾坪貳合六勺

現在建物延坪　壹萬七千五百拾七坪六合九勺六才

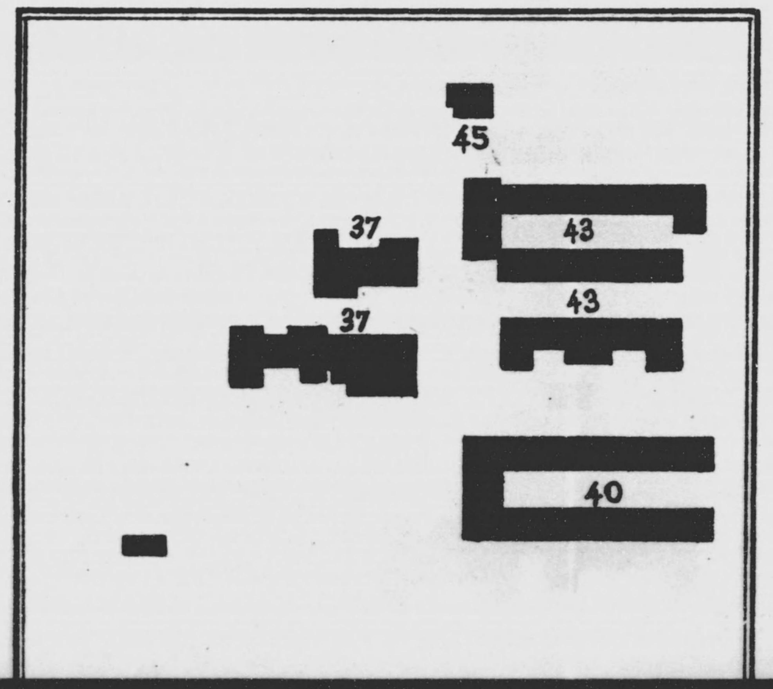


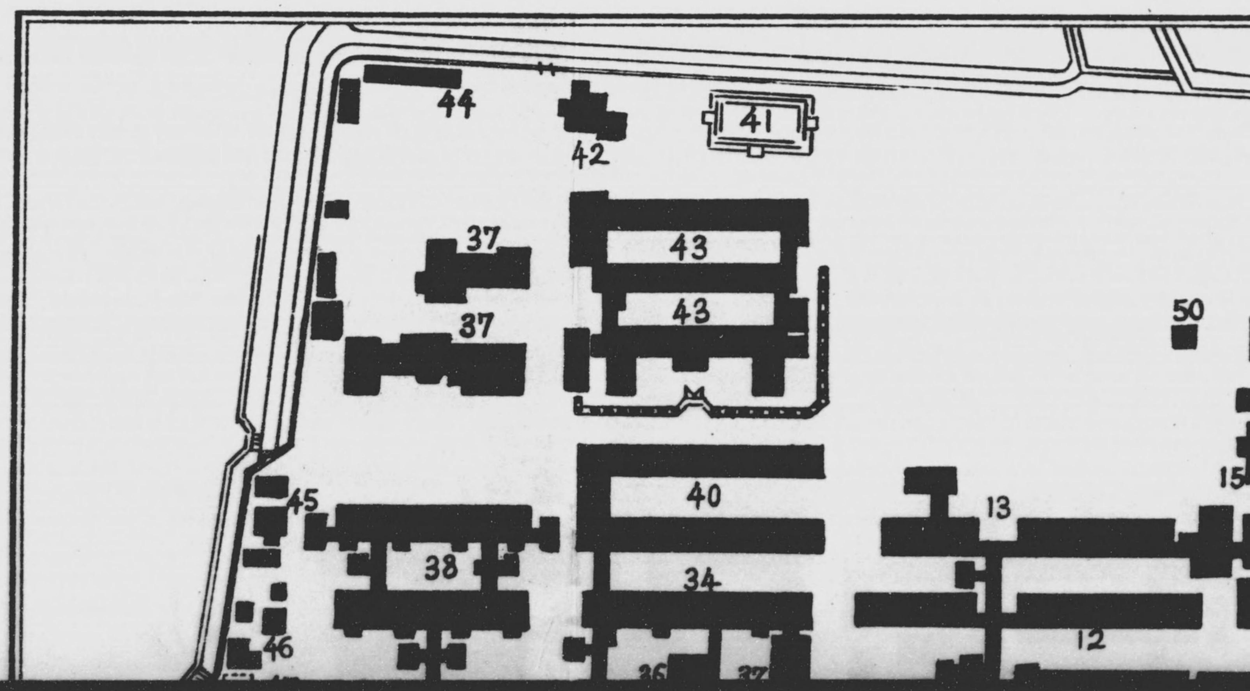
岡山醫科大學平面圖

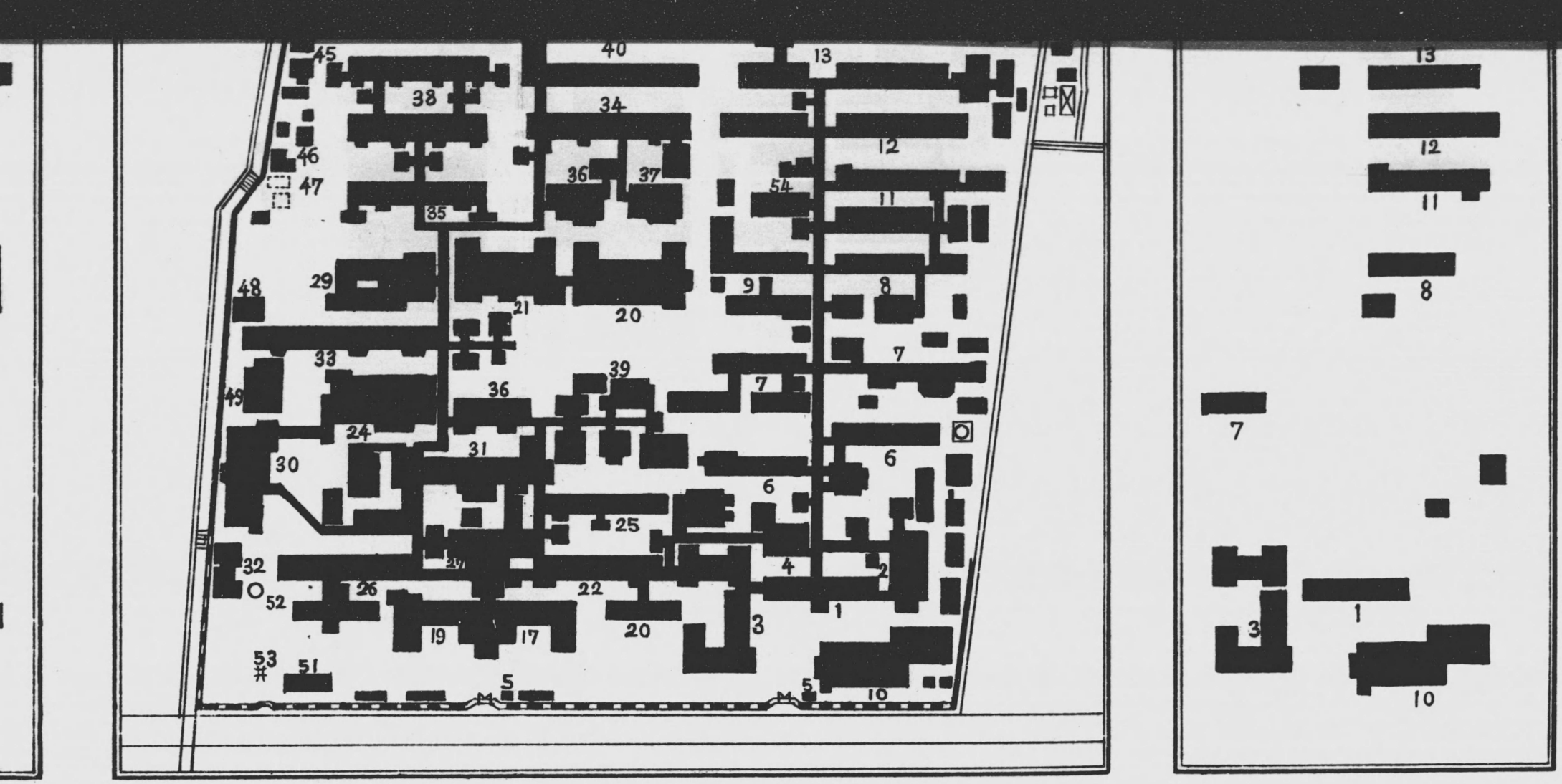
昭和八年十二月一日現在

地坪　四萬五百六拾貳坪合六勺

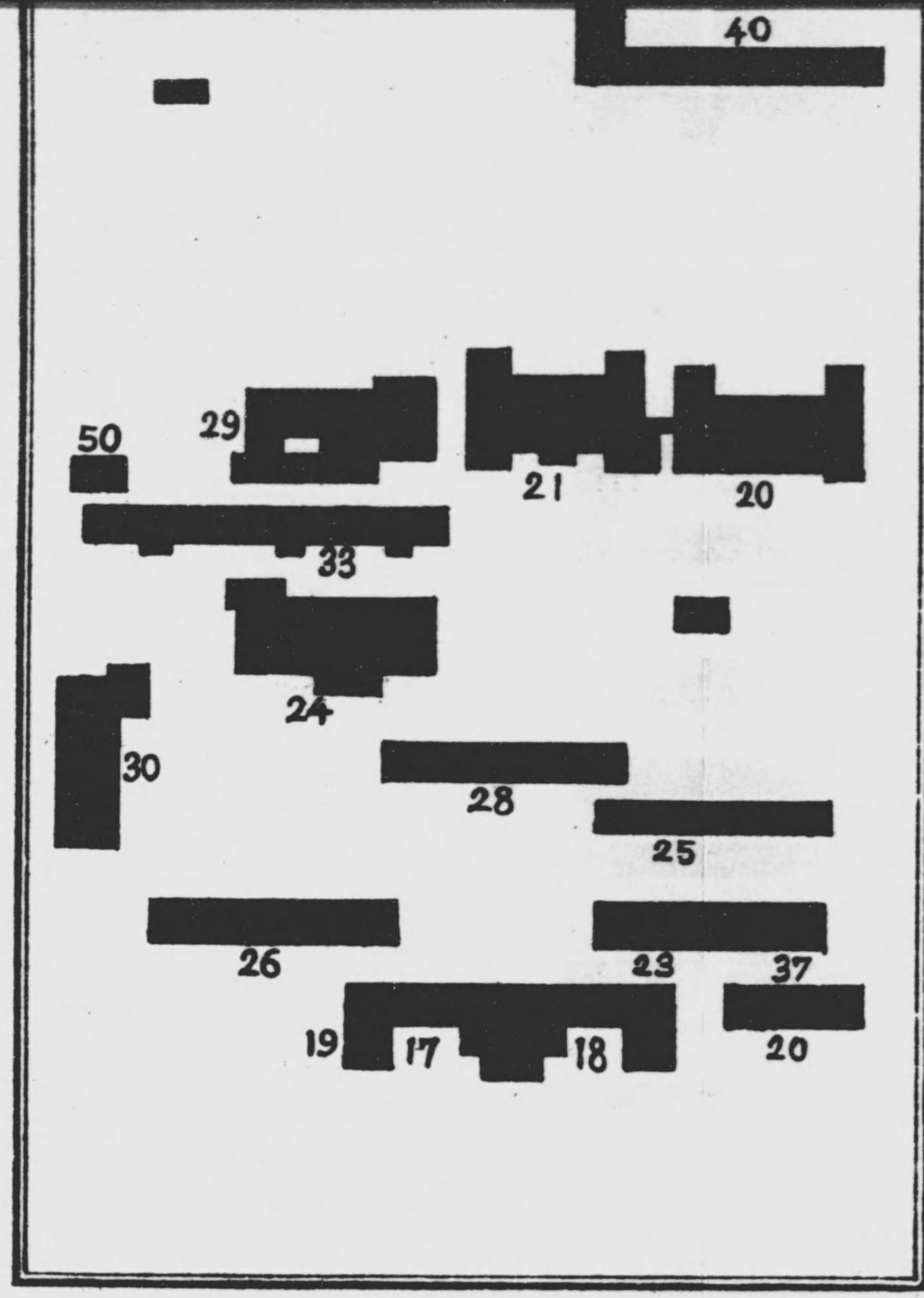
現在建物延坪　壹萬七千五百拾七坪六合九勺六才

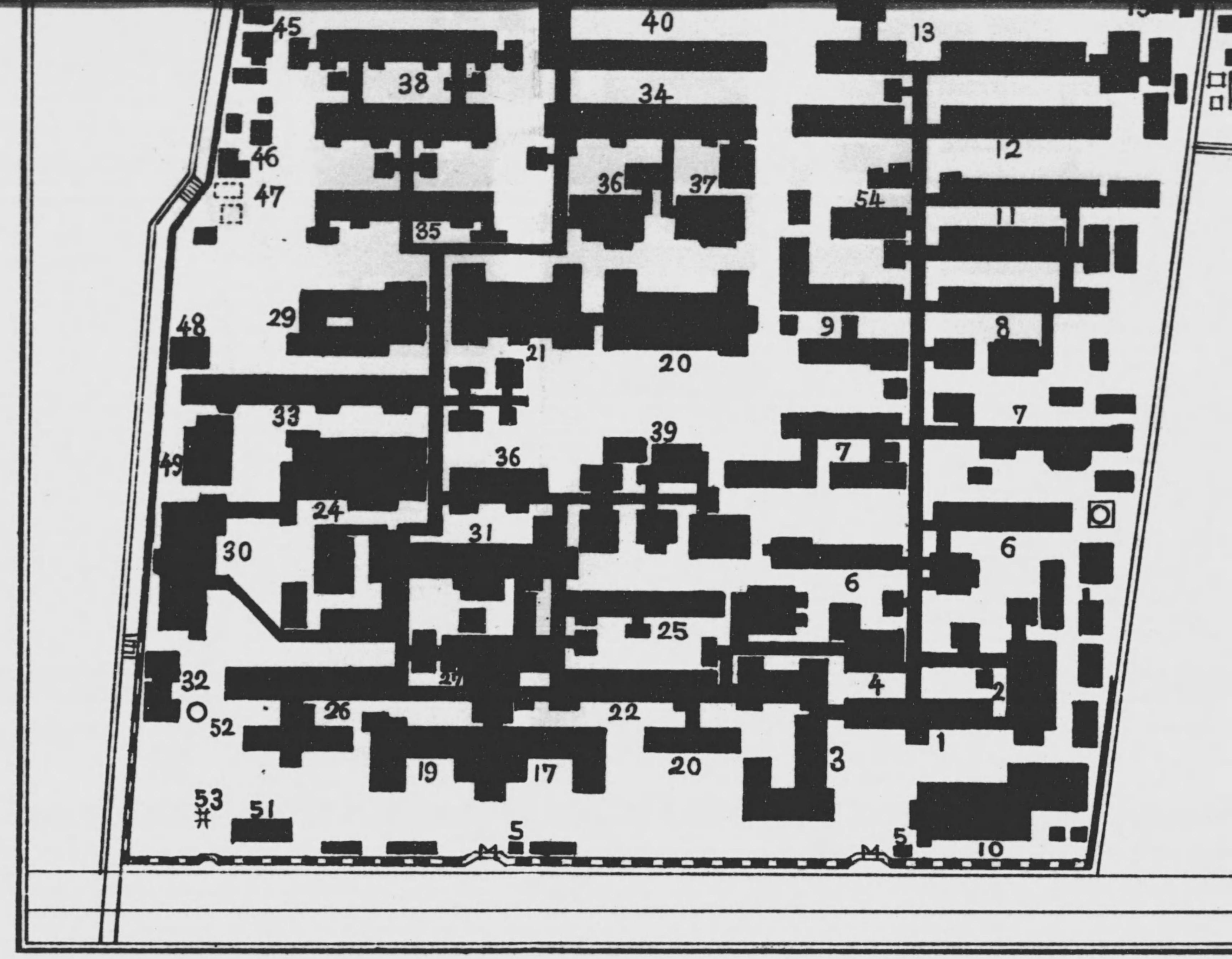






1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
本館	講堂	圖書館	學生控所	門衛所	生理學教室	解剖學教室	法醫學教室	藥理學教室	生化學教室	衛生學教室	細菌學教室	病理學教室	集會場	柔劍道場	學生浴室	稻田內科教室	柿沼內科教室	皮膚科泌尿器科教室	津田外科教室及病棟	泉外科教室及病棟	外科外來患者診察室	內科外來患者診察室	產科婦人科教室及病室	眼科教室	耳鼻咽喉科教室	藥局	看護婦養成科教室	小兒科教室及病棟	調理部及食堂	外來及學生食堂	製氷室	皮膚科泌尿器科病棟	耳鼻咽喉科病棟	物理療法科	レントゲン科	精神科教室及病棟	隔離病棟	眼科病棟	內科外科病棟並共同病棟	プール





14	集會場
15	柔劍道場
16	學生浴室
17	稻田內科敎室
18	柿沼內科敎室
19	皮膚科泌尿器科敎室
20	津田外科敎室及病棟
21	泉外科敎室及病棟
22	外科外來患者診察室
23	內科外來患者診察室
24	產科婦人科敎室及病室
25	眼科敎室
26	耳鼻咽喉科敎室
27	藥局
28	看護婦養成科敎室
29	小兒科敎室及病棟
30	調理部及食堂
31	外來及學生食堂
32	製氷室
33	皮膚科泌尿器科病棟
34	耳鼻咽喉科病棟
35	物理療法科
36	レントゲン科
37	精神科敎室及病棟
38	隔離病棟
39	眼科病棟
40	內科外科病棟並共同病棟
41	プール
42	看護婦集會所及舍監室
43	看護婦寄宿舍
44	動物室
45	靈柩室
46	汚物燒却爐
47	淨化裝置
48	配電室
49	機關室
50	御眞影奉安庫
51	文部省建築課出張所
52	用水タンク
53	大秤上家
54	敎練敎室

⊙附　錄

岡山醫科大學學友會規則

第一章　總　則

第一條　本會ハ岡山醫科大學學友會ト稱ス

第二條　本會ハ會員相互同心協力シテ德性ヲ涵養シ智識ヲ研磨シ身體ヲ鍛錬シ以テ學風ヲ振作スルヲ目的トス

第三條　本會ハ岡山醫科大學內ニ置ク

第四條　本會ハ左ノ會員ヨリ成ル

正會員　名譽會員　特別會員　修身會員　贊助會員

正會員ハ本學々生ヨリ成ル、但研究科學生並ニ專攻生ヲ含ム

名譽會員ハ本會ニ緣故又ハ功勞アルモノニシテ役員會ノ推薦ニヨルモノヨリ成ル

特別會員ハ本學教官、事務官、藥局長、助手、副手ヨリ成ル

終身會員ハ卒業生ニシテ特別會員ニ該當セサルモノヨリ成ル
贊助會員ハ本學前身學校出身者ニシテ特別會員ニ該當セサルモノヨリ成ル

第五條　會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚ス行爲アリタル時ハ會長ハ之ヲ除名スルコトアルヘシ

第二章　役員

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　副會長　部長　幹事　委員　書記

第七條　會長ハ學長ヲ推戴ス

會長ハ本會ヲ總理シ會議ノ議長トナル

副會長ハ教授中ヨリ會長之ヲ囑託ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス

部長ハ教授助教授中ヨリ各部ノ推薦ニヨリ會長之ヲ囑託ス

但シ庶務部長ハ學生主事之ニ當ル部長ハ凡テ兼任スルヲ得ス

部長ハ當該部一切ノ部務ヲ管理ス

幹事ハ事務官之ニ當ル

幹事ハ本會ノ事務ニ從事ス

委員ハ正會員ノ互選ニヨリ各級一名宛各部ヘ選出ス

委員ハ當該部一切ノ部務ヲ處理ス

書記ハ本學事務員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

書記ハ幹事ヲ補佐ス

第八條　役員ノ任期ハ一ケ年トシ每學年ノ始ニ就任スルモノトス

第九條　委員ノ選擧ハ每年二月ニ之ヲ行フ

但シ一年級ハ第二學期ノ始ニ於テ委員ノ選擧ヲ行フ

第十條　委員ニ當選シタルモノハ猥リニ辭任スルコトヲ得ス

第三章　役員會

第十一條　役員會ハ會長、副會長、部長、幹事、委員ヲ以テ組織ス

第十二條　事務遂行上ノ便宜ノ爲メ代表委員會ヲ設ク

代表委員會ハ會長、庶務部長、幹事、庶務部委員四名各部代表委員一名宛ヨリ成リ會長之ヲ召集ス

第十三條　會長ハ毎學年ノ始ニ於テ役員會ヲ招集シ當年度ノ豫算ヲ議ニ附ス

但シ必要ニ應シ臨時役員會ヲ開クコトアルヘシ

役員會ハ出席義務者半數以上ノ出席ナキ時ハ開會セス

議決ハ多數決トス可否同數ノ時ハ議長之ヲ決ス

第十四條　規則改正ヲ除キ本會ニ關スル他ノ重要事項ハ役員會ノ決議ニヨリ決ス

第十五條　規則改正ハ役員會及總會ノ決議ヲ經會長ノ許可ヲ受クルモノトス

第十六條　規則改正ニ關シ役員五名以上又ハ會員中十分ノ一以上ノ請求アル時ハ會長ハ役員會ヲ招集スルヲ要ス

第四章　總會

第十七條　會長ハ必要ニ應シ又ハ役員會ノ要求ニヨリ總會ヲ招集ス

總會ノ決議ハ多數決ニヨル可否同數ナル時ハ議長之ヲ決ス

第五章　部

第十八條　本會ノ目的ヲ達センカ爲ニ左ノ諸部ヲ置ク

庶務部、文藝部、劍道部、柔道部、庭球部、卓球部、陸上競技部、蹴球部、野球部、漕艇部、水泳部、音樂部、乘馬部、弓道部

第六章　會計

第十九條　本會ノ經費ハ會員ノ會費入會金及寄附金ヲ以テ支辨ス

第二十條　會員ノ會費額ハ左ノ如シ

正會員ハ一ケ年金拾圓毎年四月、九月ニ授業料ト共ニ分納シ卒業期ニ金五圓ヲ納ムルモノトス

但シ研究科學生及專攻生ハ入學ノ際並ニ毎年度始ニ金五圓ヲ納入スルモノトス

特別會員ハ有給者ハ毎月俸給二百分ノ一ヲ分納シ他ハ年壹圓五拾

錢ヲ學年ノ始ニ納入スルモノトス

名譽會員、終身會員及賛助會員ヨリハ會費ヲ徴收セス

但シ有志者ノ寄附ハ之ヲ受クルコトアルヘシ

第二十一條　正會員ノ入會金ハ拾五圓トス入會ト同時ニ之ヲ納ム

但研究科學生並ニ專攻生ハ入會金ヲ要セス

第二十二條　本會ノ會計事務ハ本學會計課ニ於テ之ヲ取扱フ

第二十三條　既納ノ會費、入會金及寄附金ハ如何ナル場合ニモ返却スルコトナシ

第二十四條　本會ノ事業年度ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マデトス

第二十五條　部長ハ毎年三月末日迄ニ當該部決算ヲ會長ニ報告スヘシ

第二十六條　部長ハ代表委員會ニ提出スヘキ當該部當年度ノ費用ヲ豫算シ毎年度始ニ會長ニ差出スヘシ

第二十七條　會長ハ毎年度始ニ代表委員會ニテ當年度豫算案ヲ作製セシム

第二十八條　會長ハ定期役員會ニ於テ當年度豫算ヲ議定セシム

第二十九條　毎年度剩餘金ハ本會基金中ニ繰入ルヽモノトス

但シ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用シ得ルモノトス

第三十條　費用ハ部長及委員ノ捺印シタル債權者ノ請求書ニアラサレハ支拂フヘカラス

附　則

各部ハ事業遂行上別ニ其細則ヲ定ム可シ

但シ會長ノ認可ヲ受クヘキモノトス

⊙岡山醫科大學卒業生

（昭和八年十二月一日現在）

氏名ノ上ニ×印ヲ附スルハ死亡者

大正十五年三月卒業（二十三人）

伊丹訓吾　岡山　早川政俊　愛知
奥山美佐雄　岡山　渡邊九郎　岡山
竹内道眞　岡山　中澤爾行　兵庫
藤田富豐　廣島　藤川良雄　德島
×三宅郁多香　川　宮崎哲　岡山
須藤五一郎　高知　菅田濱　岡山
×西村伊勢松　岡山　西田實雄　廣島
渡邊傳二　岡山　金光康生　廣島
中村博鄕　和歌山　前田謙二　東京
小池藤太郎　三重　岸岡精華　岡山
進藤直作　愛媛　廣川濟　廣島
×鈴木鐸郎　宮城

昭和二年三月卒業（二十七人）

市村壯雄　岡山　伊藤駒夫　大分　井手又藏　佐賀
大田原一祥　岡山　音田德太郎　大阪　×加藤暢靜　岡
橫山秀三　島根　田端健久　和歌山　佃毅香　川
村上高　新潟　上野博　岡山　熊本正熙　福岡
松森明　福井　福田豐　和歌山　新勇奈　良
佐伯純一　大阪　菊田兵三　宮崎　宮田貞二　山口
×森長秀　東京　勝呂學　靜岡　平井出正三　山梨
劉雄　支那
吉田豐太　岡山
永山太郎　岡山
山口節郎　和歌山
佐藤國男　兵庫
廣田照暉　山口

昭和三年三月卒業（四十七人）

岩藤良秋　岡山　昭博
岩井知義　兵庫
林　孝彦　廣島
濱田英治郎　岡山　昭博
×土岐龍三　岡山　昭博
間　靜島根
岡村好幸　和歌山　昭博
生山昌敏　山梨
香取正倫　千葉　昭博
鎌倉貢　廣島
田中敬三　兵庫　昭博
土屋敏正　兵庫
上野勝太郎　島根　昭博
栗林太郎大分
松波賢吾　岐阜　昭博
松浦三郎　兵庫
正岡旭　廣島　昭博
×前田茂　兵庫
獨協本科昭博
獨山義治　奈良
福本久　兵庫
阿久澤太重　群馬　昭博
佐藤幹島根　昭博
垣律夫　廣島　昭博
森秀齊　京都
×原田要一　岡山
×堀一雄　岡山
竜善支那
修頤支那
戸亨　大分
大梁清實德島
河合忠義　岡山
山丈夫　鹿兒島
立花岩吉　岡山
氏家貫三　東京
山根馨　岡山
牧野博　岡山　昭博
野源三　愛媛　昭博
藤野謙次　岡山
古田謙次　岡山
三木良定　兵庫
本亨　熊本　昭博

（一人）

西村虎夫　宮崎

昭和四年三月卒業（四十七人）

石川適　岡山
大島松一　岡山
河合郁二　兵庫
飯尾勝海　島根
小野田良一　岡山
加藤五郎　靜岡
蜂谷道彦　岡山　昭博
小田敬進　岡山
葛城雷次郎　福岡
帆足九萬三　大分
和田達郎　島根
編山茂松　福岡

吉田和男　岡山　昭博
高橋重勝　熊本　昭博
谷一倚　兵庫　昭博
桑原良一　岡山　昭博
×小林章二　廣島　昭博
佐藤秋夫　岡山　昭博
最所勝英　佐賀　昭博
北義保　兵庫　昭博
湊次郎　山口
神藤達男　愛知
森六朗　岡山
田代喬　島根
中田敏哉　島根
山本靖透　岡山
佐藤悌大分
齊藤義次　岡山
木村誠七郎　新潟
三舟淳夫　德島　昭博
進藤眞作　兵庫　昭博
鈴木章　岡山
武信芳郎　東京
馬詰征平　兵庫
安井彌八　兵庫
佐藤喬　岡山
岸毅郎　島根
宮崎義則　愛媛　昭博
清水勝　京都

昭和五年三月卒業（五十九人）

石原忠之　岡山
石川正次　兵庫
富田廉三　廣島
友廣忠正　大阪
大重實遣　鹿兒島
大野慶文　京都
岡村榮雄　長崎
岡本好之助　岡山
加藤照夫　靜岡
河原省平　岡山
高橋熊夫　兵庫
高田弘　岡山
立野清一　山口
中村孟　廣島
中山一彥　福岡
中島秀征　東京
村上德太郎　愛媛
浦城二郎　三重
厨實　大阪
桑原利勝　大分
松本茂人　廣島
岩永勵一　長崎
太田克　岡山
小田源太郎　岡山
越智幸雄　愛媛
横山久衛　岡山
田隈克己　兵庫
中村俊雄　山口
永光軍一郎　福岡
野口武夫　愛媛
戎能一郎　愛媛
本清治　兵庫
星島忠夫　岡山
大塚蕃　岡山
小川譯　岡山
渡邊武　香川
高見孝志　岡山
玉井元三　愛媛
中西正男　岡山
藤河武雄　廣島
黒田秀隆　岡山
松田義秋　奈良
小西信雄　廣島

古林隆碩　岡山　遠藤虎之助　香川
水谷一輝　香川　澁谷成利　京都
本松明　福岡　桃井寛次　京都
菅龍正　廣島　杉佐助　高知

昭和五年四月卒業（一人）

熊井孝三　山口

昭和六年三月卒業（六十一人）

生熊良文　和歌山　石田憲吾　廣島
橋本清　岡山　原田忠　岡山
大森誠　岡山　岡崎衛生　山口
川島有季　德島　川崎祐宣　鹿兒島
香川榮　鳥取　金岡英雄　岡山
田淵義三郎　岡山　田岡在久　德島
孝橋周德　兵庫　玉尾延忠　香川
根岸五郎　岡山　中尾源造　島根
山崎三省　廣島　山崎喜三郎　岡山
松元健二　岡山　松岡三八一　熊本
菰口武夫　岡山　瀧川克己　香川
明石新藏　愛媛　佐藤靜馬　岡山
喜多島愼一　岡山　敎山照輝　宮崎

生田靜也　岡山　市丸謙介　福岡
飛谷忠弘　香川　大杉眞造　岡山
岡村隆良　鳥取　岡貞邦　岡山
川口敎夫　廣島　勝山薰　岡山
吉浦悟　福岡　吉宗泰次　大阪
高畠護　岡山　高原滋夫　岡山
鶴身孝雄　香川　露野包夫　岡山
中島達二　岡山　黑田章夫　岡山
山田一良　山口　矢島壽　長崎
丸山正　熊本　小坂壽彥　岡山
遠藤修一　岡山　寺島富京　都
齋藤晴雄　島根　酒井美雄　兵庫
三宅愼治　岡山　三瀨忠興　愛媛

齋藤出羽　栃木　水野知文　廣島
東島辰雄　佐賀　廣津格大　分
仙波廣一　愛媛　菅田土郎　岡山
高畠正夫　岡山

宮島忠　香川　箕越中　廣島
廣本達吉　廣島　守屋睦夫　岡山
鈴江榮德　島　妹尾成人　廣島

昭和七年三月卒業（六十五人）

岩崎武　兵庫　岩佐鑛藏　愛媛
家永寶　兵庫　家城博泉　富山
石島達　滋賀　伊藤正道　島根
服部三樹三　重　羽田謙仁山形
大西晃　高知　大野勳次郎　廣島
岡本重雄　大阪　岡崎哲　岡山
金光近夫　岡山　河村謙一　岐阜
嘉悅新一　大阪　兼田三郎　青森
田邊公彬　大分　田中剛　岡山
橘捷夫　岡山　伊達富久　岡山
中內胤雄　高知　中田富士雄　岡山
內橋禮次　兵庫　內藤達雄　岡山
久保四郎　高知　藏本養三　廣島
柳田秀一　京都　山本英雄　愛媛
藤野博儀　神奈川　福田正男　三重
江口重郎　佐賀　佐藤二郎　千葉
望月章次　山梨　森岡清三郎　高知
菅沼博　長野

井上雄吾　廣島　井爪昌和　和歌山
板野坂惠　岡山　今屋一誠　滋賀
伊崎宣行　廣島　池上章　岡山
橋本健　兵庫　新田司郎　廣島
大谷憲吉　島取　岡宏　香川
金津晴亮　島根　金井英藏　兵庫
河野通鄉　香川　龜井俊夫　廣島
米坂彌和　歌山　橫山猛重　高知
高野惠　廣島　高見修一　兵庫
中尾親章　鹿兒島　中尾與一郎　山口
鍋島清志　廣島　內藤達雄　岡山
久山正策　岡山　藏本養三　廣島
安田健次郎　兵庫　藤田敬吉　廣島
福井朋安　大阪　小坂昭男　岡山
木下武男　大阪　北垣忠男　兵庫
關谷重幸　岐阜　杉本徹　岡山

昭和八年三月卒業（五十九人）

石川昂　香川　石井研二　廣島　井上正之　福岡　岩橋安雄　和歌山
西村正治　和歌山　西川規夫　兵庫　外山孝二　愛知　友保誠　岡山
大島捷六　石川　大林義彦　廣島　大見良秀　愛知　小田醇太郎　鳥取
岡崎春雄　廣島　尾崎嚴衛　岡山　和田直　京都　若尾五雄　山梨
川本桂一郎　奈良　河野圭之　大分　吉田三郎　山形　田中守義　岐阜
高橋齊　山口　（舊姓山口）谷川裕　長崎　難波武夫　岡山　內藤豐　福井
上村良一　山口　上塚萬壽男　大阪　內山宗一　兵庫　鵜飼昌雄　兵庫
倉內勇吉　大阪　山谷幹雄　岡山　眞喜屋實亨　沖繩　松島春海　和歌山
小泉三郎　廣島　小坂澄治　岡山　後藤修吉　岡山　寺島和周　香川
安達龍夫　香川　安里昌由　東京　安藤貢　香川　明石愛爾　岡山
赤松金四郎　廣島　淺沼清志　岡山　齋木豐　山口　齋藤了　岡山
坂本賢三　長野　榊原涉　愛知　佐々木貞夫　島根　木口浩三　岡山
美田隆紀　兵庫　三好桂一郎　山口　三井義亮　香川　宮本輝夫　岡山
水田隆之　岡山　志茂正規　岡山　平田善夫　宮崎　森正久　廣島
森加博　廣島　守屋誠　岡山　石天之樞　臺灣

昭和八年五月卒業（一人）

關寅太郎　長野

⊙元第三高等中學校醫學部
元第三高等學校醫學部
元岡山醫學專門學校
元岡山醫科大學附屬醫學專門部
卒業生

氏名ノ上ニ×印ヲ附スルハ死亡者　（昭和八年十二月一日現在）

元第三高等中學校醫學部

明治廿二年七月醫科卒業生（十八人）

物部恭平　岡山　×岸美之三　島根　×藤田茂　香川　戸田虎三　岡山
久保湖一郎　愛媛　兒玉三代太郎　廣島　×高根房次郎（舊姓部）　岡山　×平原碩衛　岡山
太田眞三次　岡山　×江見文夫　岡山　井野千代松　三重　渡邊純（舊淺太郎）　岡山
×山本喜重郎　岡山　賀川一郎　德島　×村上格言　愛媛　×久山隼太郎　岡山
杉田平輔　鹿兒島　×三羽市夫　岡山

明治廿二年十二月醫科卒業生（四十人）

×富村金次郎　島根　松原朋三　香川　難波益太　岡山　×陶燕　香川
晴木龜之進　島根　×沖利喜太　岡山　×荒木蒼太郎　岡山　×野村圓吉　岡山
河合佐次郎　愛媛　×赤松是三郎（舊島村）　岡山　×二宮浩一　岡山　×三上季三郎　岡山
×宇野武　岡山　藤原鐵太郎　岡山　藤田荒次郎　岡山　西修爾　和歌山
高畑運太　香川　矢野恒太　岡山　高橋武三郎　岩手　×近藤寬平　岡山
×芦田松三郎　島根　石岡繁太郎　岡山　木下博　和歌山　澄川吉太郎　島根

金田義一郎 岡山　菅澤武三郎 岡山　粟井芳雄 岡山　×難波貫一 岡山
×乙部壽之丞 岡山　×島田善良 愛媛　×水川泰亮 愛媛　×野村幾男 島根
森脇圓治 和歌山　×中平武雄 高知　×寺尾（萬良）浩 岡山　×原田源次郎 岡山
林　祥坐 高知　×北村虎治 岡山　堀川芳太郎 德島　小森鐵太郎 岡山

明治廿三年十二月醫科卒業生（四十六人）

×越智豐太郎 愛媛　×石川新市 島根　瀨戸山清彥 宮崎　×祈　良之助 島根
五十嵐辰馬 兵庫　×藤崎力松 島根　高坂駒三郎 香川　×保田幾次郎 岡山
奥山一平 奈良　×田野嘉一郎 島根　多田豐三郎 岡山　×古川武平 德島
畑　榮太郎 島根　×堀　庫三 岐阜　×米原彥三郎 島根　×橘高徹夫 廣島
松島　朗 和歌山　×田代丈之助 島根　蘆田三折 京都　末野包槌 山口
×水野桂次郎 愛知　岡本一之助 島根　豐田吉次郎 山口　岩谷林之助 島根
垣內三郎 和歌山　一藤元嗣 兵庫　×佐久間延太郎 廣島　×松宮彌太郎 山口
河本眞吾 岡山　×宮崎武之助 佐賀　鴨井久米五郎 岡山　島田可奈也 福井
横山大藏 島根　板津武治 岡山　×金林康次郎 廣島　×澁谷弘道 山口
×佐藤敏太郎 德島　星　靜處 廣島　×柚木壽太郎 岡山　×神田又郎 兵庫
川上佐源太 岡山　×曾我部元市 德島　織部寬一郎 大分　丸岡眞義 德島
佐野澤之助 和歌山　北條寬平 德島

明治廿四年十二月醫科卒業生（四十三人）

山根壽三郎 島根　宮本實治 山口　×三並知夫 愛媛　駒井　潔 兵庫
×林原貞吉郎 島根　村上六也 京都　植木第三郎 京都　疋田直太郎 岡山

三菅芳之助 三重　富田龍太郎 兵庫　×伊藤熊治 兵庫　森澤久治 京都
藤澤克孝 岡山　×國方長三郎 德島　柘植宗貞 三重　高橋勝彥 福岡
村上彌穗若 島根　×小出龜雄 兵庫　×南部　啓 京都　×永海貞三 島根
堀尾秀之助 兵庫　曾我東洋 岐阜　×大林森次郎 香川　×生川善松 三重
×小野田晋哉 廣島　×岡　靖 岡山　圓山幾彥 岡山　福本欽太郎 島根
×赤澤和作 岡山　×近元儀助 山口　富井桂治 兵庫　永井政忠 愛媛
中元寺長風 宮崎　藤村富三郎 京都　×小西元太郎 香川　林　清馬 山口
×伊藤顯太郎 德島　×加藤文郁 大分　水野善一 岡山　中野　碩 兵庫
×木谷貴惣太 岡山　前田棄次郎 京都　横田豐次郎 德島

明治廿五年十一月醫科卒業生（五十四人）

×渡邊榮吉 愛媛　×屋葺熊七 岡山　福知繁次郎 京都　×横山龜雄 岡山
×山根大學 島根　×角　準造 山口　小出謹一郎 岡山　×生田龍太郎 德島
佐藤　茂 岡山　吉川熊一郎 京都　杉山鉄太郎 岡山　長井　操 兵庫
×田宮靈一郎 廣島　柳田厚二 京都　大淵雄一郎 鳥取　清水桂次郎 愛知
大道庫治郎 京都　高須直一 愛媛　×齋所　功 岡山　守屋第三 岡山
×近藤亮太郎 京都　姫井只次郎 岡山　石井剛太郎 岡山　福井泰藏 兵庫
×渡邊玄肅 岡山　×清水卓造 大分　大鳥勘平 德島　大石房次郎 島根
神戸俊雄 岡山　×黑岩龜壽 高知　×山口作郎 島根　增田德太郎 奈良
原　竹造 島根　森本武一郎 島根　齋鄉品之助 山口　×長尾主一郎 大分
柚木鉄治 岡山　田北信一 山口　×藤川義衛 岡山　山中藤一郎 岡山
利根隨吉 大分　和氣熊太郎 岡山　室住儀三郎 德島　×中村鎌吉 長野

×力丸　繁　兵庫　岡本廣助　兵庫　吉田武平　岡山　足達　綱　福岡
×木村　雄　兵庫　×野老山高茂　高知　×近藤元春　和歌山　畑　禎太郎　兵庫
三木堅二郎　兵庫　小野寛尭　廣島

明治廿五年十一月藥學科卒業生（九人）

×勝山虎三郎　岡山　寺尾完治　愛媛　武田愛一　山口　八十川（岩博）榮太郎　香川
森田和平　岡山　井上福松　岡山　×藤原吉二　岡山　加藤（鳥井山）誠治　岡山
×重成八百吉　岡山

明治廿六年十二月醫科卒業生（三十二人）

×加納作太郎　岐阜　梅田覺太郎　廣島　×樋口繁次郎　滋賀　×馬島長四郎　德島
×津野長也　兵庫　×沼本　浩　岡山　和田善次郎　島根　内藤　達　德島
×山崎信次郎　山口　板東要太郎　德島　三木龍哉　岡山　松井隈太　京都
松村　洋　大阪　×西田司馬福　福岡　太田喜眞太　岡山　辻井松之助　京都
山根亭七　島根　井阪爲則　德島　門田豐熊　山口　谷口一郎　岡山
武下吉次　香川　小森甲子良　京都　奥平孫太郎　鳥取　×陸　隆一郎　岡山
内田久太郎　岡山　横地九三郎　三重　×渡邊友琥　岡山　岡崎良吉　京都
松崎章太郎　兵庫　小笹平三　島根　×服部　稔　兵庫　×日名寳吾　岡山

明治廿六年十二月藥學科卒業生（十五人）

古田宗二郎　三重　×山本安吉　山口　×岡村礦五郎　京都
大谷金助　島根　×武藤（鳥金ヲ）十郎　岡山　增垣幸作　山口　×原　牧三郎　島根

大井安次郎　岡山　水川駒次郎　岡山　×野崎廉平　岡山
石井蕃方　岡山　木村亥左武　岡山　×町田覺一郎　岡山
美甘熊七　岡山

明治廿七年十一月醫科卒業生（三十九人）

兒玉惟一　廣島　麻植巨一　德島　×吉本勝之助　廣島
樋口虎若　愛媛　×中村悅次郎（醫博）尾池元太郎　兵庫　×遠藤三千二　香川
宮田潤太郎　島根　×石原俊吉　岡山　×佐藤龜一郎　岡山
吉川脩一郎　和歌山　内山鍊吉　京都　田中彦三郎　香川
勝所榮十　大分　白木元吉　神奈川　×增岡道太郎　山形　鷺岡俊平（鳥長船）京都
×市原廣助　山口　×虫明俊三　岡山　梅谷幹人　大阪　陶山鎭治　岡山
三宅修造　和歌山　×内田忠遣　京都　中澤千吉　兵庫　×大竹繼之輔　山口
佐野珠悅　島根　加藤一馬　廣島　石丸三郎　愛媛　山村恒太　香川
×小津眞佐太　岡山　山本甚市　鳥取　三井謙三　香川　牛窪季矣　京都
小泉　貫　山口　鷹津文郁　兵庫　上田久太郎　德島

明治廿七年十一月藥學科卒業生（九人）

永島　忠　三重　×光後（馬神分）元太郎　岡山　×小出　脩　奈良　×高杉要二郎　岡山
堀林太郎　岡山　服部　興福井　金澤（岩助）巖　岡山　草薙　彊　兵庫
村田廉太郎　愛媛

明治廿八年十一月醫科卒業生（二人）

川南　求　滋賀　高橋數尙　香川

元第三高等學校醫學部

明治廿八年十一月卒業生（六十三人）

醫博 桑佐八郎 島根
×石部國次郎 島根
醫博 ×松波哭太郎 岐阜
小倉儔 愛媛
×松尾壽太 佐賀
小倉忠夫 廣島
飯田左三 三重
坂東儀八郎 香川
渡邊忠男 鳥取
五十里董椒 福岡
×神谷武夫 岡山
島中雄才 奈良
×上田發志 大分
德永鹿太郎 福岡
中河與吉郎 香川
三宅方朔 福岡
×永富恕平 大分
×金田正 兵庫
佐藤薫 香川
笠原哲彌 大阪
西村貞三郎 京都
奈良眞三郎 岡山
吉谷恒三郎 大阪
土井敬八郎 兵庫
小田右市 三重
山崎先多平 兵庫
醫博 三宅良一 廣島
×安部藤隆 福岡
河原杏平 岡山
橘久三郎 香川
×奧田作藏 兵庫
×森要 岡山
×香川貞市 島根
×三浦幸彌 兵庫
河村益三 山口
×內山退藏 兵庫
×進藤進 大阪
×米澤幸造 兵庫
須山肇 鳥取
須磨輝市 廣島
岩崎千代松 島根
山梨信太郎 靜岡
鈴木鼎吉 京都
柳爲輔 山口
×手塚亨二郎 東京
福田勣次郎 兵庫
×佐々木隆吉 岡山
×山下隆次 德島
×田中茂吉 和歌山
×難波立達 岡山
鍋島三藏 香川
土屋近市 岡山
×越智一覺 廣島
×野津猛男 島根
和田英太郎 大阪
舊半井 ×山本臘 福井
井上英一 廣島
皿井立三郎 岡山
赤澤乾一 廣島
山本宗一 大阪
×遠山小太郎 愛媛
井口和十郎 香川
×野村猛熊 山口

明治廿九年十一月卒業生（四十三人）

×藤原薫 島根
松井幾郎 廣島
×菊池正光 福岡
錦織幾三郎 島根

×梅本熊太郎 福岡
三野原愛四郎 福岡
西井廉作 岡山
調道太郎 福岡
二井榮太郎 兵庫
白築榮三郎 島根
×柴山文太 岡山
×安原忠人 岡山
×遠藤隆宣 京都
×梅谷秀和 兵庫
×藤原勝吾 岡山
松崎宗信 愛媛
松尾廣運 島根
×有持哲造 德島
舊田路 森金重郎 兵庫
黑住靜太 岡山
下村幸太 兵庫
天野友藏 山口
三河內諄一 山口
×中村四郎 廣島
馬島良吉 滋賀
日比野勉 德島
×野村男三 高知
原藏太 佐賀
金子宇十郎 長崎
明星育藏 愛媛
醫博 加藤誠治 岡山
岡崎類三 廣島
森谷柳太郎 岡山
×長濱友雄 山口
上野賢藏 兵庫
上田長藏 京都
田中常一 兵庫
岩井正浩 高知
×秀平嶺太 岡山
野口元七 高知
後藤許太郎 廣島
醫博 永井秀太 岡山
美田玄司 兵庫

明治三十年十一月卒業生（六十二人）

×高畠庫文司 德島
伴鎌吉 岐阜
×楢崎敬之 福岡
廣橋源藏 兵庫
秋光二六 廣島
×中野忠一郎 京都
大江匡雄 京都
楠原正香 大分
松岡松治 大分
×橫矢重吉 高知
×奧山周達 奈良
井上圓造 福岡
×永山長三 岡山
×角田秀雄 兵庫
佐藤靜夫 岡山
×佐藤桃朔 廣島
×赤松榮太郎 岡山
中野俊造 福岡
田村環 香川
朝岡龍太郎 大阪
×淺野賢之助 島根
舊淺石 松山咲二 岡山
×桑原利馬 大分
×繼邊壯平 岡山
加來惟吉 福岡
生野秀二 岡山
山口良一 兵庫
鳥山淳治 岡山
宮原修藏 山口
四倉富城 宮崎
×岡崎淑夫 福岡
龜井顯次郎 島根
淺羽春之 岡山
中山傳九郎 宮崎
×山下德右衛門 廣島
醫博 岸一太 岡山
×河村鼎 山口
橋本猛夫 德島
高山龍之助 和歌山
×森光太 岡山

名和田豐作 山口
谷口百太郎 奈良
石原廣四郎 岡山
×兒玉玄吉 廣島
須藤五百三 岡山
(舊牧卯)銀羽卦治郎 岡山
×光畑幸雄 岡山
田中恒楠 和歌山
梅原芳雄 京都
×品川正三 山口
岸岡修吉 岡山
×太田完 島根
大賀正造 福井
秋岡虎雄 大分
大谷熊之進 山口
×前田大吉 廣島
銀林重雄 新潟
坪田旭一 岡山
小野彦藏 奈良
内田金一郎 岡山
長澤康人 京都
藤山一雄 岡山

明治卅一年十一月卒業生（六十四人）

森十司 兵庫
(舊伊藤)大木與四郎 長崎
兒玉吾一 廣島
×吉村眞貴 熊本
細田富濶 鳥取
朝長賤夫 長崎
×大野克己 鳥取
内山敏夫 兵庫
宮原正(舊惠一)康 佐賀
×三ツ卷貞助 山口
×吉田武雄 鳥取
棚橋隆 德島
(醫博)平田吾一 廣島
天羽恒太郎 德島
谷口捨次郎 奈良
堀野美治 山口
安井雅一 愛媛
×小林豐三 鳥取
近藤寛次郎 岡山
勝野英雄 德島
×渡邊達 福岡
×園田鶴太郎 廣島
三戸常三郎 愛媛
×夏井正胤 愛媛
井上悅介 德島
×原巍 岡山
太田貞吉 大阪
×二宮要 福岡
(舊藤木)河野稻太郎 岡山
×德永升太 岡山
(醫博)佐伯矩 愛媛
(醫博)谷高三郎 岡山
宮川久米次郎 福岡
×村田龜太郎 岡山
生田樂太郎 岡山
小島居才吾 長崎
×北原竹男 福岡
×井上久一 大分
村田暢四郎 大阪
×松田靜雄 廣島
宮武幾太郎 香川
西下武治郎 岡山
松本百之助 香川
(醫博)齊藤精一郎(舊中一) 秋田
馬場利三郎 滋賀
(舊稻葉)布留幾作 長野
×渡邊瀧造 岡山
桑田敏行 廣島
横山久太郎 岡山
大平彦市 廣島
服部清一 廣島
小山小文治 和歌山
西鶴之助 鳥取
森下忠恕 高知
富永壽一郎 廣島
藤井曹一郎 岡山

高木勝見 奈良
(醫博)前田三郎 兵庫
×久保辰治 山口
内田綱太郎 佐賀
×佐々木長通 島根
西村義男 兵庫
×谷山寅吉 岡山
高橋俊雄 廣島

明治卅二年十一月卒業生（五十七人）

×關原欣二 岡山
×小倉耕平 岡山
黒瀬藤一郎 廣島
伊藤英雄 兵庫
倉重眞一 山口
杉右一 山口
多々見五郎 山口
(舊太田)伊澤元藏 岡山
浦上純一 德島
今川安宅 愛媛
兒島碩藏 熊本
×三輪俊弼 山口
伊藤壽吉 石川
齋藤孝弘 福岡
長谷川廉平 岡山
甲斐四郎 廣島
物部龜久壽 高知
×向井新 長野
×高田千賀太 岡山
淺田捨吉 兵庫
小田成器 岡山
吉田坦藏 兵庫
×田部健一 廣島
×川上甚太 鳥取
森滋太郎 福岡
大澤喜衛 愛媛
吉村誠一 山口
(舊島田)景森森太郎 岡山
西山壯三 廣島
×北山乾三 京都
百々次郎 兵庫
石田幾馬 廣島
小畑義敎 鳥取
伊藤五郎 福岡
×岸田九平 山口
×鈴木重樹 愛知
内島昌雄 德島
淺山轄太郎 山口
浦上三四 岡山
×平原貞吉 長野
(舊戸倉)楠瀬正俊 高知
佐藤春一 岡山
門田正德 岡山
今村實 島根
×櫻木拙藏 鳥取
長野楠太郎 高知
砂堀雅人 廣島
(舊大森)石戸巍 岡山
梶原與七郎 熊本
太田廸郎(舊澤衛門) 三重
高尾朔二 島根
×六車謙八 香川
×梅谷脩藏 兵庫
永松晋次 大分
×三玉彌壽二 廣島
×大屋熊之助 福岡
日隈新 大分

明治卅三年十一月卒業生（六十九人）

(醫博)×本田重次郎 愛媛
古川浩 兵庫
中丸市兵衛 廣島
×淺沼登眞太 岡山

山川庫藏 德島
平岡確一 廣島
藤本助治 岡山
片岡光次郎 島根
×太田宣男 岡山
×尾上德太郎 兵庫
鶴崎政記 熊本
成田丈一 德島
岡保二 島根
神田震吉 京都
杉山貴一 山口
後藤倫四郎 廣島
加藤哲造 廣島
×深澤精三 兵庫
森 矯 岐阜
米田房太郎 鳥取
治部松四郎 岡山

×河村秀三 廣島
舊桂 東條健齋 德島
×神殿美代藏 宮崎
×筒井元吉 德島
木村太郎 岡山
松村坦治 兵庫
小田切秀述 福岡
×西本安麿 廣島
永安寛 島根
舊佐伯 合田龜太郎 愛媛
矢野政五郎 德島
柳原元重 高知
吉田瑞太 兵庫
峰 當一 長崎
×河原岩太 岡山
醫博 溝口喜六 佐賀

小谷德雄 鳥取
×中林義男 島根
澄谷 奏 廣島
半井鐵道 愛媛
野崎一義 高知
吉野一知 愛媛
今井文次郎 兵庫
山本陸治 兵庫
隈部 篤 長野
×勝原善之助 兵庫
×牛尾信夫 大阪
淺原俊次郎 福岡
中村正路 岡山
松本和雄 廣島
伊藤一郎 大分
妹尾雄一郎 岡山

福塲智可 廣島
山根健二郎 島根
開發展也 兵庫
畠中全助 德島
森 富太郎 岡山
×時澤幾造 山口
池上馨一 岡山
中川助太郎 山口
朝倉義路 高知
×峯本愛藏 德島
長濱丹次 山口
出原義重 高知
脇本正夫 岡山
中山靖治 岡山
深山 巖 兵庫
藤井亮介 兵庫

元岡山醫學專門學校

明治卅四年十一月卒業生（七十人）

吉馴秀雄 香川
黑田治太郎 岡山
浦城大助 三重
×三池 治 福岡

醫博 高月三郎 長崎
田北義雄 大分
由井 雄 兵庫
大石三雄 三重
×渡邊賴男 岡山
佐藤 壽 岡山
×荒木嘉憲 島根
士屋直己 大分
×佐々木楢治郎 奈良
森川宗治 香川
×難藤靜夫 岡山
小國積治 兵庫
×松田深造 山口
×平野藤太郎 兵庫
新庄勝清 山口
小池 恭 島根
×松井壽郎 佐賀

×仁木五郎彥 長野
横山光永 兵庫
×尾形十太郎 廣島
×牧野佐三郎 島根
石川勝春 愛媛
×古谷寅喜代 愛媛
×山口大三郎 兵庫
河本基一 廣島
×秋山 榮 廣島
津田 春 大阪
名艸隆三郎 廣島
×竹內恂造 廣島
醫博 小橋政香 岡山
×石尾定太 岡山
濱野哲郎 奈良
瀧 守永 香川
×眞鍋平八 德島

山之內忠茂 愛媛
三宅川治三郎 愛媛
片寄 連 宮崎
市原辰泰 高知
八島弘治 宮城
谷 勘三郎 福岡
舊石崎 ×小林團一 島根
山本泰吉 岡山
富永直俊 長崎
河田節夫 岡山
橋本一郎 岡山
林 久雄 德島
戶澤三策 山形
足立丙子郎 奈良
×町野鼎造 山口
×今田正人 廣島

×佐久間章一郎 岡山
山田 通 兵庫
本村成章 長崎
辻田百太郎 福岡
×大倉郁太 岡山
×尾上順太郎 熊本
北島種彥 佐賀
高原英夫 岡山
千賀愛人 愛媛
兒玉周一 島根
醫博 久保信之 佐賀
戶田磊之甫 岡山
細川平左衛門 廣島
山本 泉 岡山
金川弘造 兵庫
×山科貞一 山口

明治卅五年十一月卒業生（八十一人）

×牟田熊彥 佐賀
內藤直太郎 德島
出射一郎 岡山

×高木常雄 岐阜
香川瀧造 廣島
井崎精一 鳥取

×大江直吉 兵庫
舊山崎 千田義雄 岡山
横澤泰一郎 長野

×大河內孝一 愛知
×石井久太郎 東京
逢坂左馬之助 德島

古川佐一郎 愛知
瀧口一三 廣島
杉浦實雄 愛媛
須原廣三重
三木德次 香川
三宅弛 岡山
×眞田謹一郎 愛媛
×北山眞造 京都
×河內山信吉 山口
×土谷隆光 岡山
嵩鶴彥 和歌山
木村尙德 島根
×池田武 島根
×堤聚 愛媛
×藤澤義夫 香川
×內田耕一郎 福井
田中倉太 長崎
三好智整 岡山

×光田幹雄 岡山
村上茂 大阪
山田覺 愛知
川田直清 香川
佐治豐 岡山
濱島秀梧 福岡
×福井慶太 岡山
×吉岡敬三 岡山
草野春平 東京
×片山愛雄 岡山
池田喜一 新潟
×姫井良夫 岡山
水野澤齋 大阪
五井徹三 重
角田清次 岡山
有村守平 鹿兒島
近藤綾次郎 德島

保井安治郎 兵庫
黑須鑾 埼玉
三谷盛國 高知
×藤村一郎 山口
×藤津善右衛門 山口
相田小八 長崎
×早川亮一 愛知
藤堂一郎 廣島
×北村尙虎 熊本
宮崎昌太郎 岡山
×田邊義一 大分
鈴木一吉 石川
安藤謙三 大分
長木義男 德島
×池田住太郎 島根
和田精才 兵庫
三好三郎 佐賀

×延岡靜 岡山
石原貫一 岡山
×藤原時彥 佐賀
瀨戶亘 高知
宮崎吉澄 愛媛
增原長治 島根
安達精三 滋賀
津島一伸 香川
佐藤壽雄 廣島
×丹羽浩 岡山
×本田肪一 大分
桑原良馬 高知
永松休光 福岡
鈴木正司 新潟
久保井定治 奈良
南部健二郎 京都
矢野貞 愛媛

明治卅六年十一月卒業生（七十二人）

入倉榮暲 香川
山添貞三 大阪
×醫博小池巖雄 島根
折茂恒治 群馬
馬淵秀逸 大阪
醫博上山喜明 島取
岡村善三郎 山口
醫博三井圭造 山梨

平井龜太郎 廣島
難波秀太郎 兵庫
黑瀨富太郎 廣島
石田敏太 岡山
國分禮吉 福岡
後藤弘介 香川
北室直一 德島
劍持民一郎 岡山
桑一學 福井
平位律藏 兵庫
重富貫二 山口
×安保鼎造 廣島
植善次郎 和歌山
×三宅百樹 京都
德森大成 沖繩
橫山巖 岡山

×山本庄之助 兵庫
松田丈平 岡山
黑瀨眞一郎 福岡
×朝長昌雄 長崎
梶完次 香川
×舊三宅吉田慶助 岡山
×齋木阿久利 廣島
醫博岩野俊治 千葉
藤井政助 三重
×土居通親 廣島
×鈴木泰 岡山
藤井與三 愛媛
×阪口義譜 和歌山
鶴見助 愛媛
×立花綱祥 佐賀
舊守屋村上嶺二 廣島

×山崎宗三 香川
小野寺俊造 三重
淵田俊治 大阪
森山麓 島根
井上藤香 福岡
×江並直幹 神奈川
中根光直 三重
井上武 兵庫
×廣瀨併二 新潟
今山茂 大分
漆原亮平 香川
×平井郁太郎 高知
×村上健 島根
內海定男 兵庫
×窪田幾介 山口
舊小森藤掛三郎 京都

×村主丑太郎 岡山
×永森彥八 香川
中西龍雄 大分
×尾形德夫 德島
中村平三郎 福岡
掛谷令三 廣島
岩崎剛 千葉
若山茂雄 滋賀
遠藤進 岩手
長野守常 高知
兎本宇三郎 京都
×喜多源太郎 德島
中原健太郎 香川
×箭田繁福 香川
吉富常治 宮崎
秋重肇 福岡

明治卅七年十一月卒業生（九十一人）

×內田操 奈良
×佐野又新 島根
×遠藤肇 德島
×長坂誠 廣島

醫博廣瀨耕一 岡山
×佐々木寬治 大阪
別所愛三郎 島取
清水眞三郎 島根

×中北善之助 滋賀
渡邊悅次郎 三重
飯田良雄 大分
西山九右衛門 岡山

山本新次郎 愛知
陶山齊 島根
長船郁太郎 岡山
×代田英夫 長野

×增田正爾　香川
×岡田順造　廣島
×吉田直毅　兵庫
岡山愛三　三重
×奥野賢次郎　岡山
河合泱香　香川
大森爲二　岡山
三木方直　香川
村上敬二　福岡
×大野守三　岐阜
友保正雄　岡山
×大前信三（實淺造）　大阪
大澤義朝　高知
荒川寬　德島
白形昌業　愛媛
鈴江豐　德島
×赤井寬一（和歌山）
×岡崎喜太郎　岡山
立川直大　大分
×林田龍太郎　三重
水谷禎二　岡山
森恒三　廣島
三瀨茂彥　愛媛
山口政一　鳥取
石原庫三　岐阜
土佐彙次郎　島根
安水說治　兵庫
野瀨伊勢吉　福岡
武部元雄　京都
八尋卯次郎　福岡
川西清規　岡山
吉田秀之助　兵庫
松原乙作　山口
×北村康夫　京都
×那須仙三郎　岡山
荒木要五郎　岡山
×吉原華一　廣島
松井篤二　廣島
朝倉長三　兵庫
×內田稔介　山口
西崎忠平　岡山
松野一也　秋田
田崎清次　宮崎
近藤盛德　島
×松岡敬止　香川
小池環　島根
阿部千年　福岡
片山雄　岡山
岡田長一　島根
小柳實　福岡
黑田秀夫　山口
松田敏人　廣島
×辻田由馬　愛媛
松島堅吾　德島
關餘作　北海道
近藤幸太郎　德島
越智佐夫　廣島
白神盛雄　岡山
×有馬純也　德島
田中榮一郎　德島
高原十三治　兵庫
×河原猛夫　岡山
有田暢介　山口
×丸岡定吉　京都
×山田尙忠　岡山
松成晉一　大分
山本貴亮　山口
×佐々木民雄　岡山
×二宮猪四郎　愛媛
×山內叉八　香川
山中豐二　兵庫

明治卅八年八月卒業生（六十七人）

上田敬治（醫博）　奈良
野田三郎　廣島
小橋新次　奈良
林有隣　廣島

井爪昌一　和歌山
角田穡　岡山
菅一　愛媛
藤田境太　岡山
平位節藏　兵庫
×花岡文四郎　三重
菊原政通　愛媛
魚角量吉　高知
河村五十鈴　滋賀
生島質　兵庫
安部一　大分
齋藤勝郎　島根
高田克明　兵庫
×小出和次郎（舊姓荻尾）　岡山
×中本房二　岡山
田丸要樾（醫博）　廣島
奧宮松枝　高知
佐藤次郎（舊姓木江）　廣島
×高見新太郎　兵庫
林正樹　山口
湯川新遺　和歌山
吉田幸治（醫博）　鳥取
若月館一　山口
×兒島辰三郎　岡山
安田收藏　京都
藤本茂治　大阪
吉田一正　京都
×近藤熊猪　高知
福井泰　岐阜
安東讓之助　岡山
×長田信實　高知
×岸六郎　廣島
陶順二　山口
松浦輔彥（醫博）　廣島
武市榮德　島
森源之助　兵庫
×竹本源一　廣島
×北山文規　三重
平岡忠美　廣島
伊庭慶吉　京都
竈門龜千代　和歌山
×小河愛之助　福岡
×小松一樹　高知
有馬文作　山口
永井翁　愛媛
三浦小次郎　島取
安元進　福岡
向畑健次郎　和歌山
×畑精吾　三重
小倉一郎　岡山
貴島貞三郎　大阪
町田弘一　岡山
×山田淺次郎（舊姓萩尾）　廣島
山崎利宗　廣島
阿南一夫　大分

明治卅九年十月卒業生（九十人）

×石部賢三　島根
岡村儀人　山口
奧源之助　兵庫
伊東卓哉　大分
牛尾耕平　廣島
×三宅保治　岡山
渡邊琢次　岡山
×大藤昇　岡山
加來彌三郎　大分
川崎舍正遒　香川
三好正一　山口
×橫山繁　岡山
福永豐綱　廣島
安達唯一　香川
×林榮太郎　岡山

大上富次郎　愛媛
×坪井喜寛（改姓村上憲佑）　岡山
大田原英一（舊姓）　廣島
小野寺芳三郎　岡山
戸田安衛　兵庫
和田英次　岡山
三木延一　德島
清水五郎　德島
大橋直俊　兵庫
山下三郎　岡山
伊賀龜三郎　香川
大島重雄　大分
廣本文吉　廣島
久保田三郎（舊姓村上）　兵庫
中原謙次郎（舊姓武内）　廣島
太田英一郎　兵庫
淵嘉吉　三重

×高島靜彦　愛知
木村茂樹　兵庫
万袋大祐　岡山
渡邊一太　香川
×小金井拙夫　兵庫
横井達歷　愛知
×青木季夫　福岡
藤田覺三　三重
×武岡達次（舊姓藤）　德島
吉松鹿尾　愛知
兒玉利秀　鹿兒島
上條善太郎　廣島
岡本哲郎　兵庫
柏村博　兵庫
×多記章輔　兵庫
小林久治　兵庫
佐久間佳誠　奈良
岩本哲郎　山口

×內田重太郎　香川
小牧德身　高知
神原省吾　香川
×篠原雅吉　香川
×池山精一　愛媛
增野撰一　山口
堤元齡　三重
×茶川一　山口
×吉井豐太　香川
吉松鹿尾　宮崎
×渡邊八重馬　高知
德永達三　三重
大野賢三　新潟
×清水朝雄　山梨
兵頭要助　愛媛
×高柳治助　岡山

×竹腰馨　大阪
豐田菅次郎　香川
寺島房吉　京都
澄谷浦輔　廣島
×黑住喜治　岡山
井內芳三　德島
×岡崎澄太郎　島根
松本眞治　岡山
中原清　島根
×高知
×木戸純　島根
足立（舊姓松）貫（舊姓藤）　京都
×笹子暉　廣島
愛媛

明治四十年十月卒業生（百二十三人）

瀧口俊榮　福岡

×安藤幹太　岡山
賀川哲夫（舊姓藤）　廣島
×池上公平　廣島
高原來二　岡山
宇治木清之助　廣島
久保五百吉　香川
長沼象助　山口
×藤浪和美　愛知
福島壽人　廣島
三村恭助　岡山
平川龍造　廣島
福山秀雄　兵庫
西川卓三　兵庫
盧原松三郎　香川
高橋守三郎　愛媛
×高井強　兵庫
山口李郎　大分
×大村正員　滋賀
三浦萬之助　山口
×山崎英男　岡山
松澤喬　岡山
木原舜市　廣島
伊藤琢郎　鳥取
×稻垣馨　京都

吉田廉　熊本
×羽山周五郎（舊姓川）　和歌山
本名猛雄　岡山
上田寬　岡山
笹原竹三　秋田
×楢崎達　山口
近藤鑾太　岡山
澤村久壽猪　高知
立神正夫　廣島
齋藤平七　廣島
柘植俊雄　熊本
原染次郎　岡山
眞野良隆　愛知
吉川家善　廣島
西村一太郎　山口
福岡作群馬　福井
榎本六三郎　和歌山
藤戸正孝　兵庫
富士田如一　廣島
×安達周一郎　愛媛
田村宇一　廣島
高大阪

萩本快吉　大分
×羽山周五郎（舊姓川）　和歌山
本名猛雄　岡山
矢澤弘水　長野
×楢崎達　山口
近藤鑾太　岡山
澤村久壽猪　高知
立神正夫　廣島
齋藤平七　廣島
柘植俊雄　熊本
原染次郎　岡山
眞野良隆　愛知
吉川家善　廣島
西村一太郎　山口
福岡作群馬　福井
榎本六三郎　和歌山
藤戸正孝　兵庫
富士田如一　廣島
×安達周一郎　愛媛
田村宇一　廣島
高大阪
山名正土　高知
本城立勢　岡山
矢澤弘水　長野
杉原盡　愛知
×楢崎達　山口
近藤鑾太　岡山
澤村久壽猪　高知
立神正夫　廣島
齋藤平七　廣島
柘植俊雄　熊本
原染次郎　岡山
眞野良隆　愛知
吉川家善　廣島
西村一太郎　山口
福岡作群馬　福井
榎本六三郎　和歌山
藤戸正孝　兵庫
富士田如一　廣島
×安達周一郎　愛媛
田村宇一　廣島
高大阪
中村吉太　山口
長谷川恒治　香川
冲谷末吉　大阪
伊藤琢郎　鳥取
堀田彌三松　大阪
日置高　大阪
中村金藏　鹿兒島
桑田潤吉　廣島
松葉周一　廣島

×新居顯太郎　愛媛　松浦綾太郎　愛媛　烏丸俊彥　鹿兒島　圓尾龜代治　兵庫
大塚和勝　愛媛　横山銑太郎　高知　沼本綾造　岡山　×產賀敏雄　岡山
小川庸夫　岡山　×吉武權一　山口　小坂保　岡山　渡邊善作　栃木
×尾坂勇夫　岡山　時岡東作　新潟　進藤斧吉　岡山　桑原元吉　岡山
山崎翁（醫博）　廣島　高月賢一　岡山　福井勇太　山口　岸耕介　山口
×黑住寬二　岡山　戶田亨（醫博）　廣島　柚木武夫　岡山　大塚文雄　滋賀
長村規矩　大分　井上靜丸　山口　×赤塚二郎　三重　松井俊一　廣島
小川勇平　岡山　藏川敬二　兵庫　松井林太郎　廣島

明治四十一年十一月卒業生（百八人）

橫川定（醫博）　岡山　又森平八郎　德島　菅實　岡山　村田秀太郎　岡山
宇山榮一　德島　×狄野孛美（舊漆原）　岡山　太田九三男　愛知　久保富太　香川
井上覺永　奈良　武中勳策　廣島　額田正　岡山　林昌（醫博）　岡山
和田法雷　石川　×仲一司　大分　尾崎文七郎　岡山　高龜良樹　廣島
砂田善平　岡山　熊本密雄　德島　佐藤孝信　岡山　×太田逸人　岡山
水原清　香川　井上壽男　岡山　横田龜熊　島根　×加藤善親　愛媛
片山薰　岡山　×渡邊守衛　福岡　福井勝　福岡　酒井憲一　岡山
×栗山武三　和歌山　佐藤臣少　岡山　落合治　三重　×山口文市　長崎
×三好正則（舊芳賀）　岡山　中島正直　岡山　小野正春　高知　×野平靖男　廣島
守山貞一　熊本　松原愛次郎　愛媛　×松村彌助　福井　×西崎辰三　兵庫
金山都二郎　德島　石川安左衛門　島根　野田諦俊　愛知　×南昌朔　三重
×櫻井廉一　山口　田中庄太郎　京都　×安東保　大分　那須四郎　岡山

森本末吉　廣島　×渡邊脩　廣島　二宮岸之助　愛媛　平野登與一　廣島
×沖原太郎　山口　×國定正男　岡山　×西本寅松　山口　須澤清次（舊鈴持）　岡山
澤田保吉　三重　桝井長策　大阪　大橋稠（醫博）　岡山　高橋彌宗一　兵庫
横田政次　香川　澤井秀夫　廣島　福武敏重　岡山　今本眞一郎　奈良
村田松五郎　山口　柳義雄　山口　福庭透　島根　×藤河喜人　廣島
西岡早太郎　兵庫　×小山豐　東京　岡本直藏（舊佐藤）　岡山　南川義一　大阪
田宮貞純　熊本　坂郡藏　岐阜　山口政男　長野　長野健次郎　岡山
平田金平　岡山　×吉本源造　島根　×森本保三郎　和歌山　岡田淳一　岡山
岩男其二郎　大分　×圓尾敏雄　兵庫　渡邊光太　岡山　×鈴木幸熙　東京
×伊藤忠五郎　三重　×高見賴治　岡山　大野勘藏　愛媛　×山內宗生（舊末男）　三重
藤義雄　大分　根鈴勝太郎　鳥取　本鄉仞　岡山　三宅伯一郎　岡山
十時龍雄　福岡　加地盛三　愛媛　×高階照夫　岡山　井關誠一　和歌山
渡邊僄史　愛媛　岩田岩次郎　岡山　高木武次　愛媛　井水柳軒　大分
佐々木利平　廣島　×河本申二郎　岡山　×西川千代松　東京　米川良遞　三重
鷲野林次郎　岐阜　秦知二　東京　小川邦愛　岡山　×八木治郎　大阪

明治四十二年十一月卒業生（九十五人）

三宮信彥（醫博）　高知　中野太郎　長野　須藤潔　岡山　對馬正五郎（舊小田切）　青森
大西永次郎　岡山　齋藤清　德島　佐藤吉玖　岡山　井上敏夫　廣島
山下勇逸　廣島　川崎力雄　茨城　河本信一　廣島　高橋莊太郎　廣島
藤岡耐三　岡山　×田伏德藏　和歌山　藤井眞澄　岡山　若田五百里　廣島
谷義夫　德島　池田嘉一郎　和歌山　重松靄　愛媛　松村政平　和歌山

前原嘉六 廣島　鶴見鎌三郎 岡山　町井貞敏 三重　溝上茂一 和歌山
大谷宇三郎 廣島　萬西明 京都　杉山榮 岡山　林昇 岡山
高橋靜間 廣島　松永威 香川　三宅助一 香川　藤本友之進 山口
土居摸太郎 愛媛　信永才一 廣島　×狩谷猛 岡山　神尾正詳 廣島
黑田純三 和歌山　南場秀一 鳥取　松本胤逸 香川　坂部一作 岡山
×宮地繁樹 高知　賴富英吉 香川　森德太郎 德島　禰屋鑛 岡山
得津慶一 和歌山　平井重次郎 岡山　武井良一 岡山　安井俊二郎 愛媛
舊赤松 都能唯市 愛媛　寒川秀雄 和歌山　醫博 高橋四郎 岡山　×田端重吉 廣島
×松田茂樹 鳥取　×堀口久樹 德島　×山下重義 德島　林充明 三重
×眞鍋泰藏 山口　醫博 沖津亘 德島　稅所貞彥 鹿兒島　×山田稔 岡山
三宅三吉 佐賀　川西道太郎 岡山　香川小四郎 香川　森忠男 廣島
×栗田櫻桃丸 愛媛　坂口壽七郎 福岡　永原哲一 岡山　大口壽香 岡山
遠山久大 福岡　近藤博 兵庫　村瀨達三 岡山　牧原勉三 廣島
山中惣次郎 和歌山　岡田胤茂 愛媛　×內田登一郎 愛媛　×鳥越幹夫 岡山
林信一 三重　山口栞 岡山　三原信章 廣島　花房秀三 香川
×佐藤孫重 岡山　舊片山 橫內喜馬太 岡山　鈴木鏗爾 岡山　鳥田奈良吉 廣島
鈴木茂 山梨　金谷忠景 岡山　三村次郎 岡山　×山本榮助 岡山
下瀨政三 山口　永井達三 岡山　仲田達夫 岡山　×石田哲 廣島
門多秀之 愛媛　湯原美夫 香川　上田保令 大阪

明治四十三年十一月卒業生（百十一人）（內修了生二人）

×河田壽太郎 岡山　福本清 兵庫　岡芳江 高知　×山脇逸三 廣島

醫博 松本武一郎 香川　坂井直一 石川　醫博 松枝新 岡山　水田泰了 高知
中原園惠 岡山　松岡金治 岡山　舊荒木 好本和多里 岡山　醫博 坂上直道 和歌山
×高橋藤隆 高知　醫博 片木龍藏 大阪　木村亨 島根　齋藤忠治 山口
安田覺造 岡山　佐藤信雄 島根　正田浦吉 廣島　舊岡山 高祖醫博 敏雅 岡山
×福井清治 高知　×人見鹿太郎 岡山　松房一郎 和歌山　矢野龍雄 和歌山
赤松善淨 兵庫　×醫博 藤井哲造 廣島　古田金造 和歌山　醫博 增野純亮 山口
醫博 小林平吉 岡山　野上尙志 岡山　平賀喜多男 廣島　川野昇 大分
×岩佐高次 岡山　武內省也 岡山　村上壽次 岡山　松森正純 兵庫
藤村幸輝 京都　松田良樹 廣島　大津寄義三 岡山　阿部營之 大分
紀一字 大分　大淵英一 島根　東原尙一 香川　栗田朝春 愛媛
三吉基雄 山口　岩堂四郎 岡山　長田孝一 岡山　伊藤一登 廣島
河野壽 廣島　打橋俊雄 和歌山　杉山龜之助 岐阜　天田照男 廣島
×種谷利夫 兵庫　人見楠右衛門 岡山　今井兼輔 滋賀　谷精二 岡山
×井上登眞夫 岡山　宮西寅之進 和歌山　島岡厚吉 奈良　小堀利一郎 岡山
坂本正三 奈良　井上八重二 岡山　×平野主計 和歌山　小川作藏 大阪
佐々木安市 鳥取　財滿平也 山口　岩崎衛二 兵庫　安永謙逸 福岡
×深瀨重直 高知　有吉憲治 福岡　淺野與 岡山　城戶通德 愛媛
加藤謙 鳥取　小野誠業 島根　西原友一 愛媛　長田祖村 山梨
池田正行 廣島　杉田俊三 大阪　寺本亦吉 島根　山中團丸 山口
平井義男 岡山　日下部弘 山形　近藤正信 岡山　北野秀正 福井
藤井義熹 廣島　藤井貫一 大阪　川原信與 德島　大谷治人 山口
米川覺一 三重　佐々千笠 島根　×川本喜代一 廣島　×由井源七郎 愛媛

×山田敏彦 廣島　中川敬雄 廣島　藤井彌二郎 大阪
豐福盛平 岡山　島羽純吉 兵庫　瀨尾淳一 廣島　成相一理 島根
山地駕藏 香川　神澤修 兵庫　森茂三重　内田猪之助 岡山
坪井嶸 岡山　綛田宗次 岡山　青江巖 岡山
吉岡好助 山口　小澤郁二 愛知　×寺澤剛一 岡山

修了生　二人

池成　沈 朝鮮　姜元永 朝鮮

明治四十四年十一月卒業生（九十人）（內修了生一人）

平野林 福岡　坂部浩 岡山　狩野行平 島根　村田英一 兵庫
豐田修三郎 愛媛　×渡邊順次 岡山　×仙波礒次郎 愛媛　濱良三 和歌山
×田中長之助 島根　×菅舜太 愛媛　村田良一 兵庫　佐々木綱太郎 岡山
石井義章 岡山　谷口耐 岡山　小坂次郎 廣島　柏原完造 廣島
金親坦 大阪　小松原猷之助 岡山　中田正景 兵庫　村舜三 岡山
安東寬 岡山　柴英雄 岡山　柏原一郎 高知　富田貞松 福岡
佐久間成三 兵庫　堤清太郎 三重　×漆原登 香川　牧田正門 岡山
×岡本龜太郎 愛媛　高橋統閒 山梨　×内田眞壽太 岡山　岩中三郎 山口
小林健太郎 岡山　井口法太郎 岡山　伊丹武男 岡山　稻富一郎 島取
山田寶二 岡山　和泉正之 香川　金森健治 島根　菊川鄭二 愛媛
矢野義德 兵庫　高杉早苗 廣島　二宮正直 愛媛　細川隆一 三重
×村井素直 廣島　武藤義思 岡山　×結緣新六郎 岡山　河野一男 廣島

櫻井鄕三 山口　德廣龜治 高知　大原四郎 廣島　波多腰鐸太郎 長野
濱崎藤吉郎 岡山　神山房助 和歌山　齋藤倚雄 三重　上田義信 岡山
×阿蘇直江 廣島　高越澤太郎 岡山　仁科稔夫 岡山　清住要 廣島
大瀧登 岡山　井坂重三 三重　兒玉政男 廣島　武波晉一 山口
藤野直亮 山口　中內一郎 德島　×原田堯一 廣島　土居盛登 山口
馬島昇一 德島　近光增夫 岡山　廣島 岡山　太田厲司 兵庫
岩佐誠一 山口　紹田達三 廣島　山田昇 兵庫　×堀江又四郎 和歌山
村田武夫 愛知　今田立彥 岡山　×廣瀨信孝 山口
石井誠次郎 岡山　×望月節治郎 廣島　杉山九一 山口　大阪
星島卓爾 岡山　福原泰造 廣島　早川次郎 愛知　田村節夫 廣島
佐藤敬造 岡山

修了生　一人

韓興敎 朝鮮

大正元年十一月卒業生（八十七人）

永瀨貫一郎 島根　椋代角一 岡山　赤木金太郎 岡山
今橋鉄三 山口　×山中喜兵 兵庫　白玖壽雄 香川
田中幸祐 岡山　丸川千基 岡山　高橋義藏 三重　×北光三 大阪
難波謙治 岡山　川田稔 高知　山中茂 愛媛　泉松之助 大分
×岸本三郎 岡山　×小島乾二 廣島　×島內義貞 高知　久々原政一 廣島
高城喬熊本　永島良之輔 京都　二神種郎 東京　井宗平 山口　大屋藤一郎 島根
水之江圖珠 大分

三宅正三 岡山　坂野義誠 岡山　(醫博)蓮井直衛 香川　影山重士 岡山
宇野實 岡山　坂上愛之助 鹿兒島　柚木唯二 岡山　服部利恭 奈良
佃卓三郎 愛媛　河野通武 山口　田村知重 愛媛　甲斐義長 大分
十市正一 高知　(舊井上)松尾正人 廣島　大內健太郎 宮崎　糸井米治 京都
小林英輔 岡山　藤澤五六 岡山　×福鎌胖 東京　神崎猪之吉 島根
×北村文吾 大分　森川光治 兵庫　(舊渡多野)齋藤壽福 山口　鴨田忠男 廣島
岡保銳 三重　×松澤芳五郎 山口　×北川直猪 高知　松田忠吉 岡山
小川一三 岡山　山部斌 山口　穀內輝夫 兵庫　河崎直 岡山
梅田好只 廣島　彌政竹雄 山口　(舊上師)前田圭三 兵庫　×松岡靜雄 大分
山田武雄 福岡　山本泉平 岡山　中島定教 大阪　(醫博)關政則 高知
竹內壽滿治 長野　中村增一 廣島　×長野敞一 兵庫　福島久吉 德島
佐々木成器 三重　中原衛貞 鳥取　×林猛雄 大分　蓬萊武次 兵庫
和田源六 德島　×山田則三 山口　(舊土居)×上原六郎 岡山　濱田友次郎 廣島
山崎龜一 三重　大澤俊郎 島根　大山忠三郎 香川　秋月春莊 愛媛
前田不窳器 愛媛　玉置昇二 奈良　森修平 岡山　山崎祐保 高知
合田壓成 愛媛　中村寬 岡山　西田琢磨 兵庫

大正二年十月卒業生（九十人）

（內修了生一人）

藏本貢 廣島　增田惣治 和歌山　重松惠祐 愛媛　佐藤武雄 島根
(舊太田)增田春一 愛媛　岸本宗治郎 岡山　天田勘七 廣島　尾木竹吉 高知
清岡直 高知　菅本一之 大阪　(醫博)藤原政雄 岡山　×大浦精 長崎
二村久雄 福岡　工藤磨 大分　佐々木三郎 大分　(醫博)藤森眞治 兵庫

西田凞治 山口　(舊高田)(醫博)關塡代五郎 岡山　桑原繭造 廣島　青野正雄 東京
山崎磐 兵庫　首藤武雄 大分　×岡本亮一 愛知　井上文夫 廣島
高島義治 鳥取　寺坂幸太郎 愛媛　×中村邦彥 三重　橫山寅二 廣島
竹內岩雄 大分　阿須賀四郎 廣島　×高田安次 德島　齋藤代次郎 岡山
廣田吉太郎 高知　鹿毛茂樹 佐賀　三浦高一 山口　南川欣司 兵庫
福田德治郎 兵庫　宗盛宗人 廣島　畠山恒三 廣島　(醫博)武田俊一郎 宮崎
服部堯估 愛媛　田井稔 香川　濱田堯民 德島　清水憲介 山口
笠井隆吉 廣島　西垣儀太郎 京都　×狩谷浩 廣島　持田武 廣島
岩井龜治 大分　(醫博)多田繁 廣島　×藤澤澤記 兵庫　(醫博)黑住久 岡山
有馬雅輔 山口　大原順一 廣島　×津堀保 熊本　×守屋愛吾 岡山
×佐藤明 岡山　高山貞 兵庫　橋口繁 鹿兒島　(舊高田)小東四郎 廣島
竹本巖 廣島　小坂金吾 岡山　森脇源吉 和歌山　藤田茂 香川
×佐藤孫市 三重　新宗一 大阪　西井鹿二 岡山　佐久間政次郎 愛知
原隣臣 岡山　(醫博)伊藤幸憲 大阪　×中島楠男 岡山　新山潔 京都
(醫博)高井禎造 山口　×久保岩造 山口　平岡篤 廣島　山根文士 廣島
內藤業太郎 岡山　妹尾良藏 鳥取　中川俊一 兵庫　×川上隆治 島根
×山口茂 岡山　柴田剛太 岡山　森肅郎 廣島　八井田茂實 高知
勅使河原文 兵庫　橋川市太郎 三重　長谷川郁 兵庫　×近石雄平 香川
丸山敬延 岡山

修了生　一人

張積仁 支那

大正三年十一月卒業生（九十八人）

田邊郁郎 岡山
×黑目丹一郎 島根
濱田榮一 京都
牛尾八治 兵庫
中野林一 廣島
濱田彥九郎 高知
×三谷弘 廣島
上野亮藏 大分
土井浦二 廣島
妹尾義一 岡山
池田重保 宮崎
田中貞夫 岡山
後藤富春 愛媛
近藤哲四郎 岡山
草野實 山口
繁田齊 兵庫
安積一郎 兵庫
×永野實雄 廣島
木本欽吾 奈良
平井義雄 岡山

高橋昌造 島根
橋本政一 兵庫
井原愛雄 愛媛
×中原武一 岡山
武內利張 高知
栗栖幸穗 廣島
菅實 愛媛
山崎雅爲 高知
正岡一董 廣島
田中繁藏 三重
山口一雄 東京
大森保 岡山
太田顯 香川
伊達珍馨 鹿兒島
古谷滋夫 福岡
富岡敏哉 佐賀
高木信 德島
谷內與一郎 大阪
白石保 愛媛
金谷卓爾 大分

古瀨久敬 島根
山崎輝 愛知
田部浩 廣島
林昇 岡山
廣川友一 愛媛
阿部常司 岡山
太桐良藏 岡山
岩橋宜雄 和歌山
×大竹恭二 兵庫
木畑辰夫 岡山
黑川節司 廣島
南部英雄 山口
山本敏春 京都
矢谷義夫 岡山
×天川保 兵庫
山下賢範 岡山
矢原四郎 香川
水野周逸 愛知
柏木俊二 兵庫
中山俊雄 兵庫

美木俊雄 岡山
×倉藤初次 岡山
藏田利作 山口
河野明一 廣島
佐野實 兵庫
田邊貞一 山口
高橋規浩 鳥取
藤田秀三郎 京都
渡部元 鳥取
己斐言 廣島
永野武二 熊本
吉田一夫 兵庫
佐藤敏夫 岡山
山科辰雄 奈良
×肥野藤貞夫 廣島
長野寬治 兵庫
岡本英一 大阪
梶谷俊三 愛媛
池井彥策 宮崎
×坂井脩 廣島

今川梧郎 岐阜
黑川幸二郎 大分
越智昇一 廣島
西川勳 岡山
井上義夫 山口

內堀昌光 兵庫
井開實二 京都
柏原義一 福岡
小澤清躬 靜岡
×渡邊亮 岡山

池田昇 廣島
生駒茂 和歌山
岡順二 和歌山
山道謹爾 長崎

篠崎憲吉 愛媛
×森文雄 岡山
林廣天 鹿兒島
保井彥三郎 和歌山

大正四年九月卒業生（九十八人）

（內修了生八人）

奧島貫一郎 愛媛
望月久雄 德島
田村益光 高知
浮田勝造 岡山
八束武利 愛媛
木村直慶 奈良
白坂正吉 山口
×金綱壽雄 廣島
×石井秋藏 廣島
都田實 鳥取
赤木義孝 岡山
三好義雪 廣島
伊藤恒二 大阪
×川上慶三郎 香川

砂田庫太郎 愛媛
×福家玄太郎 香川
×松井武三 愛知
武部明夫 三重
中井茂樹 廣島
宮本良男 和歌山
安田仙次郎 兵庫
×渡邊充吉 廣島
正井發二 兵庫
松島爾末 島根
東鄉安 兵庫
上田驍 岡山
久代義雄 山口
三原常雄 熊本

×矢吹浩 岡山
武田三郎 愛媛
島田豐文 大阪
菅田直樹 廣島
中村慶藏 三重
三木明治 德島
杉岡專吉 愛媛
宇都宮博章 愛媛
杉泰一 岡山
筒井順和 山口
金光三郎 岡山
山藤稔 島根
森戶登守 廣島
×越智五七 愛媛

中村桝樹 和歌山
新谷靜一 岡山
小山弘 岡山
滋野井至孝 石川
西村敏也 京都
須賀松三郎 岡山
陸憲二 岡山
瀧稻生 愛媛
大林蘭忠 香川
×利岡禎祥 高知
戶田茂 岡山
風呂野澤一 廣島
長直登 廣島
渡邊常藏 廣島

小橋納一郎　奈良　白石隆一　愛媛
三宅朋一（醫博）　岡山　平原準一　岡山
河島寛（醫博）　岡山　北本宗治　大阪
岡部秀男　兵庫　高橋政太郎　大分
岩坪源治　和歌山　橋田駕（醫博）　鳥取
山縣修　山口　木下正之（醫博）　鳥取
×三谷善吉　香川　草野源太郎　京都
×高橋隆彦　島根　×眞鍋昇（醫博）　香川
田淵清　徳島　荒木豐吉（醫博）　愛媛

修了生　八人

金永幸　朝鮮　孫柳溪　支那
巴思祥　支那　李光綸　支那

大正五年五月卒業生

（九十六人）

赤堀淳太郎　岡山　中村松男（醫博）　廣島
倉内嘉也　岡山　大屋晉市　島根
光田利三郎　岡山　小林孫兵衛（醫博）　岡山
中村四郎　高知　三宅誠一　香川
伊賀久家　岡山　神谷英興　愛知
太田近治　岡山　×三宅卯一　岡山
眞砂幸一郎　和歌山　谷村政體　兵庫

野内繁　島根　田中正慶　鳥取
山邊暉政　徳島　鎌田健治　愛知
石松又生　大分　西田卷三（舊八木）　岡山
黃田克己　廣島　友澤辰治郎　兵庫
吉田春壽　高知　林佐　廣島
上田宗一　愛媛　×柳井勝人（醫博）　島根
扇田豐　愛媛　糟谷達太郎　靜岡
別府伊三郎　愛媛　岡本東洋男　岡山

鄭鋼鎔　朝鮮　楊瑞包　支那
焦增祺　支那　鄒懷淵　支那

（九十三人）

岡島壽（醫博）　大分　田岡清夫（醫博）　德島
高山桑次郎　群馬　戸川要平　岡山
大谷顯三（醫博）　岡山　森谷善七　岡山
×山路順之助（醫博）　愛媛　勝田櫻　和歌山
濱田豐介　鹿兒島　渡邊清　岡山
×板野泰治　岡山　山崎敏郎　岡山
高原武一　兵庫　妹尾唯治　岡山

遠藤信昌　島根　三藤香吉（醫博）　廣島
×狹野正一郎　和歌山　永井萬龜雄（醫博）　廣島
木村義郎（舊太田）　鳥取　正次　岡山
龜山晉　岡山　緒方顯孝　香川
高見喜夫　兵庫　陶守三思郎（醫博）　岡山
中島龍一　島根　田村眞一郎　山口
井上秀男（醫博）　岡山　加藤鶴龜　廣島
湯山辨作　靜岡　森川（醫博）　岡崎　阜
森下伊右衛門　兵庫　紺谷茂　大阪
梶谷尙　岡山　森誠三　德島
×植田不二三　廣島　×齋藤思明　岡山
大谷惣次郎　大阪　井田政次郎　大阪
香西眞一　岡山　藤田義信　山口
原英男　岡山　小川基　靜岡
志村實五　山梨　小川澈塵　和歌山
×木村保廣　佐賀　×中川村雨　京都
長谷雄三郎　大分　更谷武一　奈良

畢業生　三人

金熾輔　朝鮮　葉毅　支那
王魁元　支那

大正六年五月卒業生

（九十八人）
（內畢業生一人）

×正木豐　兵庫　廣畑龍造（醫博）　廣島
舟木（舊岩崎）　靜岡　伊澤好爲（醫博）　山口
高橋勝護　高知　增田眞次　兵庫
園田富士彥　京都　常包明　香川
吉田千東　長崎　岩藤政太　岡山
三好悅一　廣島　福原憲　廣島
松岡賢一　廣島　山名良造　和歌山
×川下義見　香川　×秋山豪之　廣島
向谷準一郎　兵庫　岡田俊之　岡山
原田忠男　和歌山　高本芳郎　山口
出口林一　三重　笠井經夫（醫博）　岡山
吉川勝司　奈良　河野進（醫博）　德島
早川清雅　愛知　西尾修五郎　奈良
×井上禎治　大分　橫山敏暢　廣島
渡邊芳一　愛媛　西山凌雲　高知
安田正一郎　愛媛　越賀謙治　兵庫
×中井保景　奈良　大野眞一　岡山
更谷武一　奈良　河村良亮　三重

市來政義　鹿兒島　醫學博士　細野季彦　岡山
×山口巽　鹿兒島　中村英夫　島根　×宗像春三　山口

畢業生　一人

李甲洙　朝鮮

大正七年五月卒業生

（八十八人）

（內畢業生六人）

山口左仲　長野　高田令造　島根
中野芳熊　山口　大岩博雅　愛媛
八木重一　愛媛　黒木武一　廣島
三好駿次郎　香川　土井忠　岡山
山本宗平　三重　山田金吾　德島
久本寶三　岡山　小竹豐　岡山
林隼人　福岡　登坂清喜　山口
永義雄　長崎　龍治節三　岡山
柴田義一　兵庫　扇谷茂泰　愛媛
小池輝　廣島　橫尾秋夫　島根
川本健次　京都　元一　岡山
內海重多郎　廣島　太田仁平治　岡山
五十嵐香　山口　×伊藤和一　廣島
橫田豐治　愛知　湯淺玄雄　德島
馬塲武　岡山　由良金一　京都

中山喜美雄　鳥取　柏清二　廣島
佐藤美寶　山口　田邊操　岡山
澁谷保　東京　×中田理吉　岡山
三宅正雄　岡山　齋藤治　岡山
平野友弌　山口　水貝作一　三重
深井昇平　岡山　田中德次郎　大阪
高田弘　廣島　島橋肇　廣島
長崎榮平　島根　太田幸衛　岡山
田村權五郎　廣島　×遠藤壽太　岡山
乾茂遒　大阪　木村敏太　岡山
松村克郎　高知　清水龍介　高知
朝川尙靜　岡山　鹽川宗次　鹿兒島
寺川不二夫　大分　竹內守之輔　愛媛
×石田圓之助　大阪　竹本勇藏　廣島

七　榮虎雄　福岡　長谷川靜一　兵庫
吉田功　愛媛　上村克己　大分
吉栖生一　岡山　桑幸文　島根
×由井勝　兵庫　岡上富貴男　高知
永田作次　鹿兒島　河合一郎　岡山
川北伊勢吉　高知　梅崎明　兵庫
×北川正一　兵庫　多田幹　兵庫
前川鼎　岡山　安原節太郎　兵庫
沖野勝治　廣島　內山友吾　廣島
松尾潔　山口　大石仁八　德島
宮本保　和歌山　乾清一　德島
野田要　香川　二川敏明　香川
和田直吉　愛媛　眞部正光　愛媛
後藤義貞　香川　大石松一　兵庫
平松啓一　岡山　津本由次郎　和歌山
美馬林一　德島　畠山長作　廣島
伊藤愼一　東京　大森操　大阪
大藤利治　山口　藤村柳吉　山口
中川貞二　大阪　深瀨隆彥　岡山
寺尾德意　高知　井林清治　廣島
百東昌言　福岡　櫻林哲二　山梨
阿波桂一郎　和歌山　井上明　大分

×土橋彌太郎　和歌山　渡邊善朝　大分
福本武雄　兵庫　岡崎卓一　岡山
松岡元治郎　三重　村山富治　茨城
須之內權三　愛媛　時枝正喜　大分
神崎勤　岡山　×鹿谷啓　京都
阿部敏英　山口　木畑元米　岡山
藤原角一　岡山　×請川秋義　香川
原田馬郎　廣島　×小野是一　岡山
水上浩　熊本　細川正樹　廣島
山本覺圓　和歌山　小高與吉　岡山
木田茂　香川　永瀨寬一　岡山
松林保太郎　山口　田宮貞亮　熊本
伊東道清　愛媛　山本義雄　和歌山
三橋長一　大阪　吉田秀雄　兵庫
×今井正善　岡山　×龜岡幸衛　愛媛
桑名省郎　高知　×內野彌次郎　山口
松岡周藏　福岡　中瀨清　德島
森良珪　德島　安本義雄　島根
×太田喜次郎　和歌山　山口近義　奈良
宮竹圭一郎　大阪　寺松隆太郎　岡山
中山二郎　神奈川　水島愼吾　岡山
松浦堯　兵庫　藤本思夫　兵庫

秋田秀　岡山　望月冬樹　廣島
秋山成六　岡山　楠見尙義　和歌山
竹島光藏　大阪　×辻田象次郎　愛媛
坪郷救亮　岡山　三上紀之　兵庫
光武順一　佐賀　小林壽郎　廣島
中村善男　岡山　×安藤治人　大分

畢業生　六人

金榮五　朝鮮　鐘季養　支那
謝剛傑　支那　吳克俊　支那

大正八年五月卒業生

（九十九人）

篠原一幸　石川　村田保常　愛媛
海野仁造　岡山　×後藤英明　廣島
岡村剛次郎　廣島　北山幾太郎　奈良
多田武　香川　小出宗次　和歌山
牧野眞人　福岡　×保田燕　和歌山
森野隆　高知　清浦義夫　香川
富山四郎　岡山　前島武夫　島根
明渡侃治　和歌山　戶出軍兵　岡山
橘芳樹　愛媛　小坂成信　廣島
杉本四郎三重　熊岡貞和　香川

岸本芳秀　岡山　高橋良雄　大阪
日城旭丸　廣島　石原英俊　岡山
木村正可　大分　×大隅保一　愛媛
古林榮次郎　德島　長尾壽　廣島
加藤三郎　京都　山岸恒三　重

×藤本輝雄　兵庫　武野一雄　岡山
大橋要人　岡山　朝長貞男　山口
渡邊九郎　愛媛　仁木久雄　德島
黑瀨巖　岡山　下垣義知　島根
西村英二　兵庫　江口博　岡山
樋上秦一郎　滋賀　田村祐三郎　德島
×原文藏　兵庫　森脇了三　島根
友廣利親　山口　今村朔雄　岡山
×西谷瑞次郎　德島　山本申三　長野
折島整　兵庫　齋藤俊則　奈良

中川武雄　兵庫　中村泰吉　大阪
本城定男　岡山　南川良昌　鹿兒島
×黑田堅二　兵庫　河田豐　岡山
藥師寺忠志　岡山　清水伸　岡山
安本和夫　佐賀　×北原牧之助　福岡
小野逸士　岡山　狩野右玄治　岡山
籠善造　廣島　橫山周一　和歌山
佃武左衛門　岡山　×黑田强平　宮崎
坂上一彥　兵庫　近藤鼎　奈良
太田畔　岡山　×永井政德　廣島
建鋭朗　岡山　島田嘉奈哉　愛媛
西山昇　高知　市川正平　東京
岡田正矩　三重　穗積孝悌　秋田
萩谷勝　茨城　今西順治　奈良

村上博一　愛媛　×澁谷清　鳥取
前原士郎　廣島　佐藤俱正　德島
眞鍋武俊　愛媛　小西例一　愛媛
菅野大作　三重　鎌田維三郎　德島
×常次熊次　兵庫　喜多村練三　岡山
石橋東福　岡山　於保泰造　佐賀
松平直　岡山　須賀廣太　岡山
李申洙　朝鮮　長坂岳水　廣島
日並溫和　岡山　日高弘　島根
大村佐雄　德島　土手恭藏　京都

畢業生　四人

廖鼎銘　支那　姚鴻霖　支那
吳光濤　支那　龐文燦　支那

大正九年五月卒業生

（百二十一人）

（內畢業生三人）

林香苗　德島　×藤田良三　福岡
×小田義彥　廣島　松谷辰造　東京
門脇善次　山口　橋本孝之助　廣島
澤唐利千雄　長野　大城眞鄕　福岡
三宅正一　岡山　×小川庄三　鳥取
藤政清　石山口　佐藤政夫　岡山

田內尙民 高知
丹原驍夫 岡山
渡邊恒藏 鳥取
堀勘市 山口
×山田一三郎 大阪
×山田甫一 靜岡
中井義重 三重
宗野正 兵庫
戶田勇一 廣島
×高井春生 山口
力丸匡 兵庫
藤田富枝 愛媛
有吉邦男 福岡
湯淺忠雄 德島
下山丈夫 岡山
×新免精 岡山
山本豐之進 兵庫
宮本巖 山口
醫博 畠山拓一 廣島
佐野有俊 愛媛
藤田朝治 兵庫
醫博 秋本運旭 岡山

一宮一德 大分
越智雅二郎 愛媛
土井眞一 岡山
佐藤一衛 岡山
雲英元雄 愛知
森定惠 岡山
小野獻吉 岡山
前田與三郎 愛媛
逸見銀三郎 埼玉
醫博 大林新 廣島
佐藤忠躬 大分
河田豐章 岡山
×松岡意敬 岡山
王川忠太 兵庫
醫博 花室憲章 熊本
×醫博 安武輝一 大阪
小野哲二 岡山
重本立郎 山口
北村四郎 三重
沖隆 廣島
藤波三元夫 東京
近藤寅夫 廣島

小松原一郎 島根
醫博 原勝巳 岡山
北林稔 和歌山
山尾圓一 廣島
村田帶雲 山口
醫博 野坂綱定 鳥取
樋上士六 廣島
野津芳孝 島根
松本藤繁 愛媛
米澤隆之 兵庫
赤堀茂樹 岡山
三木克彥 廣島
×木元六郎 山口
×久留島通政 廣島
田和輔 廣島
辻哲二 愛媛
畠中敏郎 岡山
喜多島健磨 岡山
太田澄 山口
醫博 小堀文哉 岡山
足高萬太郎 奈良
醫博 朝隈末次 鹿兒島

×吉川朋來 岡山
醫博 御前慶造 和歌山
醫博 城義彰 山口
井上易憲 鳥取
石尾健次郎 岡山
森木光麿 高知
醫博 正田政人 廣島
鈴木鉄夫 宮崎
醫博 藤原寬治 兵庫
毛利明弘 岡山
西海一 山口
林成道 山口
武田光治 岡山
內藤默仙 山口
佐藤鳴海 大分
大原孝度 廣島
富岡諒一 岡山
醫博 田中政次 山口
小田薰 愛媛
辻岡新作 山口
×正田明貫 岡山
醫博 池田正夫 岡山

金子茂 廣山口
小川岩雄 廣島
半田稔 兵庫
桂義一 兵庫
森下正一 岡山

樋口敏雄 滋賀
有馬實 廣島
涂爐臺灣
吳泉臺灣
山本正臣 岡山

醫博 新藤輝雄 山口
石原順 福岡
山田謙吉 岡山
林育伯 臺灣

醫博 植苗福次郎 京都
醫博 藤田正夫 愛媛
和佐景 山口
楊西災 臺灣

畢業生 三人

金燗達朝鮮 ×陳賀虞 支那 賀孝銘 支那

大正十年五月卒業生 （百七人）

（內畢業生一人）

醫博 今川誠一 香川
×飯田俊彥 長崎
西村慶次 兵庫
沖井礦吉 廣島
奧田豐 兵庫
渡邊涉 長崎
加藤章 熊本
柏村儔雄 福岡
田代登 廣島
坪井義晴 廣島
中村康哉 島根
上田泉 高知

石井生夫 岡山
醫博 濱崎幸雄 三重
醫博 友澤昇 山口
大塚亮三 廣島
渡公夫 島根
×渡邊馨 廣島
×川崎明二 鹿兒島
×川原敬雄 德島
高原靜夫 岡山
×中野功 三重
雖藤博夫 岡山
上田慶一郎 福岡

板野秀夫 岡山
林一眞 廣島
岡崎伊三郎 島根
岡村起一郎 山口
渡邊直明 奈良
桂正胤 德島
川崎久夫 岡山
吉田畫一 德島
園部和男 岡山
醫博 中野滿隆 愛媛
村田健輔 山口
上塚荒治 岡山

伊藤啓二 岡山
濱條信一 德島
醫博 大森精一 岡山
奧村雅延 岡山
渡邊國義 大分
川中昌雄 奈良
醫博 筧英七郎 福井
高井嘉一 京都
醫博 津田稔 岡山
醫博 中村文次 愛知
浦上正直 岡山
醫博 野間新 廣島

醫博 野崎美稔 岡山
×久保銀松 高知
醫博 八木忠亮 兵庫
松田國重 山口
松田清 京都
福島良敎 兵庫
黃三朋 臺灣
寺迫新次 廣島
赤木謙吾 岡山
菊澤隆尙 三重
清谷壽 岡山
下元猛彥 高知
清水勝男 岡山
平岡寬 岡山
鈴木敏郎 兵庫

畢業生 一人

崔鑛 海朝鮮

野田榮橘 和歌山
醫博 山縣是之 廣島
安岡纒 高知
丸茂岩夫 廣島
醫博 藤井清信 愛媛
小坂泰輔 岡山
辜本 臺灣
寺尾尙文 岡山
佐藤義敏 兵庫
岸本春榮 岡山
×三宅郁多 香川
下津森雄 香川
廣田臻 香川
醫博 尾藤太 靜岡
鈴木義人 和歌山

野村清 奈良
山下兼澄 鹿兒島
山崎義郎 和歌山
益田集太 廣島
醫博 藤本秀次 兵庫
×鄕古溫 岩手
兒玉利堯 鹿兒島
赤尾壽 山梨
佐藤道夫 岡山
木村義雄 山口
光井貞八 岡山
進藤周三 廣島
東三平 岡山
東末年男 岡山

日下部求 岡山
×安田美二 鳥取
松村丈弌 山口
前田純史 兵庫
藤江薰太郎 德島
小林兵馬 廣島
寺本重樹 福井
青山貢 廣島
笹脇正彥 兵庫
木津政夫 兵庫
三宅乾 高知
×重松輝好 愛媛
醫博 東三郎 鹿兒島
醫博 須藤五一郎 高知

元岡山醫科大學附屬醫學專門部

大正十一年五月卒業生（百九人）

醫博 井上達 兵庫
出馬晋策 三重
市村治 京都
五十川健吾 大分

渭東薰 京都
濱崎八百松 高知
濱本信雄 鳥取
堀內洋 鳥取
醫博 大森三彥 岡山
岡崎集 廣島
加藤明 島根
加藤弘一 岡山
我部政光 沖繩
醫博 吉田稻太郎 福岡
醫博 田中屋清人 山口
田中敏行 山口
中西節郎 京都
醫博 伊原重彥 岡山
野中敏彥 大分
醫博 國重隆一 山口
×山口昂 鹿兒島
×前原六郎治 廣島
藤井恭 廣島
胡內光吉 奈良
饗塲美誠 大阪
×淺田一勇 廣島

岩崎壽人 鹿兒島
醫博 蓮池堯民 廣島
西村伊勢松 岡山
德森德二 鹿兒島
醫博 奧山美佐雄 岡山
醫博 岡田眞一 廣島
片平年秋 廣島
醫博 鎌倉令三 香川
醫博 加藤喜雄 東京
米原浩 島根
醫博 武田俊光 福岡
竹內道眞 岡山
仲道靜夫 福岡
醫博 村山五瀨男 岡山
栗本博雄 和歌山
藏本常雄 廣島
山口沚 廣島
醫博 前田順平 東京
藤見忠彥 德島
小林弘孟 和歌山
安達毅 香川
鮫島才二 鹿兒島

岩佐元一 香川
醫博 馬塲武夫 香川
本川喜代一 福岡
醫博 富永猪佐雄 長崎
舊太田 香川弘毅 兵庫
渡邊稔 岡山
川戶盛三郎 三重
金田團藏 岡山
×吉川克己 島根
只友一富 岡山
武田縫次 岡山
田中宣康 島根
難波驥逸 岡山
內田唯一 岡山
久保田正治 和歌山
草野圓助 岡山
山口登 鹿兒島
京極一久 廣島
藤島新次 福岡
吳廷桂 支那
有馬玄 和歌山
佐々木喬 廣島

今出金一 廣島
晴木親久 島根
堀部元一 岡山
醫博 德丸喬 愛媛
太田道效 廣島
脇田豐 廣島
鹿籠六泰祐 鹿兒島
片岡穆 廣島
吉田良一 和歌山
竹內覺二 廣島
立石力 長崎
坪井賢次 山口
長岡文策 廣島
醫博 上野直 島根
國正薰 愛媛
山內繁雄 愛媛
松尾久朗 島根
醫博 藤田富豐 廣島
醫博 小池藤太郎 三重
醫博 寺岡森太郎 廣島
秋山實 高知
岸岡精華 岡山

木村芳雄 和歌山
宮蘭榮治 鹿兒島
三玉正雄 廣島
平井鐵夫 山口
鈴木保 東京

木佐木正巳 鹿兒島
宮長久 大阪
三浦正臣 愛媛
平野千秋 愛知

金遠熙 朝鮮
三宅信吉 廣島
進藤直作 愛媛
森岡俊高 愛知

結城英夫 島根
水川隆士 岡山
重元良 鹿兒島
×森川巧 廣島

大正十二年三月卒業生（百九人）

井上武志 岡山
伊藤敏次 和歌山
西下正巳 和歌山
林庭燎 臺灣
岡俊輔 兵庫
岡本直人 和歌山
小津尙 岡山
×渡邊基 福岡
上山久之助 兵庫
神谷晃 靜岡
吉岡總一 岡山
田中彥太郎 奈良
武田要 廣島
辻田武雄 岡山
成田芳夫 德島

井上幸藏 廣島
礎野隣夫 香川
釋舍龍猛 廣島
林如松 臺灣
小栗參弌 愛知
大道直一 大阪
大熊弘三 岡山
神田薰 廣島
川上義雄 熊本
桂保 德島
×吉村主稅 大阪
段壽 兵庫
建義郎 岡山
谷口日出夫 岡山
村上禎一 山口

石田新太郎 岡山
石川小次郎 福岡
土斐崎達雄 福岡
岡野政一 岡山
×大橋潔 兵庫
沖盛榮 德島
渡邊薰 福岡
笠原浩太郎 岡山
笠原鶴夫 大阪
萱澤治作 和歌山
田中隆 島根
×田邊繁人 廣島
橘義一 兵庫
永山太郎 岡山
氏平繁 岡山

井戶福秀 岡山
潘其壎 支那
島山好人 岡山
×大內義行 香川
關藤忠雄 廣島
太田富兒 岡山
渡邊眞澄 岡山
河村九十九 滋賀
×景山重一 山口
黃聯芳 支那
田坂重 廣島
高橋喜代松 廣島
田代誠 山口
名和敬之 東京
內田茂雄 山口

上田正治郎 島根
國本武晴 兵庫
安次二郎 鳥取
山田久夫 岡山
×藤田孝義 島根
藤原皓 岡山
江原猪知郎 岡山
秋山彰 岡山
木多秀夫 岡山
篠島功 大分
廣田照輝 山口
瀨尾正 廣島

上野博 岡山
熊谷藏之允 山口
安田英二 岡山
松岡務 山口
藤原良人 兵庫
兒島俊亮 福岡
新勇 奈良
青山俊三 廣島
結緣主計 岡山
松原角一 香川
平松信直 岡山
杉本信義 岡山

野島昌一 廣島
國井順 岐阜
山內正 愛媛
丸田實喜 鹿兒島
藤田靖 愛媛
小池正之 島根
有井吉彥 和歌山
坂本孝章 廣島
三村友美 岡山
鹽見三壽太 岡山
日野從義 福岡
杉田浦美 愛媛

熊本正濕 福岡
山中幸正 兵庫
安原寅一 岡山
丸山一郎 滋賀
×福家龍夫 德島
小西眞尙 富山
阿部高知 鳥取
佐野進 兵庫
三好繁一 香川
重里權藏 大阪
久持義明 大分

大正十三年三月卒業生（百五人）

飯室俊三 大阪
岩崎暉次 岡山
原田輝雄 岡山
豐島一男 鹿兒島
岡本俊一 和歌山
尾坂政男 岡山
脇田政之助 鹿兒島
勝野勝 德島

井上龜次郎 和歌山
礦橋庄哲 奈良
西崎武亥一 岡山
長龜久麿 廣島
大浦榮 鹿兒島
岡本正人 大分
加藤喬 島根
河田榮一 岡山

糸林昌訓 德島
伊藤一雄 兵庫
西山逸平 香川
大河原柳司 東京
尾錢二郎 岡山
太田德次郎 岡山
河野豐 島根
覺前久次郎 兵庫

池井柳藏 宮崎
坂東行雄 和歌山
本多稔 長崎
鬼塚敦 神奈川
小野正雄 岡山
和田茂 島根
川西英雄 岡山
加賀吳一 岡山

吉中佳辰夫 廣島
田中敏治 岡山
田中龜 岡山
竹谷政治 大阪
難波良隣 岡山
中富和夫 德島
×浦上仲司 岡山
山內雅材 香川
×山鹿敏行 福岡
眞玉三治郎 大分
松枝正一 岡山
遠藤義信 德島
赤松圓 岡山
佐藤春海 大分
宮本種美 香川
瀨尾仁 廣島
蔡錫錡 臺灣
黃耀祖 支那
鍾體德 支那

吉本精一 岡山
山本太郎 鳥取
田中公明 愛媛
津下百太 岡山
永井良政 愛媛
上村博美 德島
野崎幸太郎 新潟
×山本浩治 山口
山本本一 兵庫
正木忠生 山口
藤山嵩 岡山
跡部鉄朗 山梨
秋月正夫 和歌山
岸虎一 德島
三島好太郎 廣島
瀨戶忠治郎 香川
陳嘉得 臺灣
陳人杰 支那

×芳井康次 大阪
高田隆次 大分
田坂三友 廣島
辻鹿子治 岡山
中井良平 福岡
植村吉雄 岡山
釘宮文生 大分
安氏茂 山口
山岸督郎 岐阜
松家稔 德島
福水正二 兵庫
荒田一郎 山口
鮫島宗雄 鹿兒島
島智秋 三重
柴田潤一 岡山
鈴木重隆 岡山
江慶 臺灣
李詩時 支那

高市太加一 愛媛
高畠西輝 岡山
田中德男 廣島
綱島義人 岡山
中村武 山口
上田敏夫 兵庫
桑島勝美 香川
山崎光太郎 廣島
八木齋 大阪
松岡恵 高知
粉川隆一 愛媛
淺田豐 大阪
笹屋昌平 靜岡
南進 大阪
重信琢雄 廣島
須山義雄 岡山
黃有福 臺灣
姜龍雲 朝鮮

昭和八年十二月十五日印刷
昭和八年十二月廿五日發行

編輯兼發行者 岡山醫科大學 岡山市岡

印刷者 瀨良常吉 岡山市船頭町八二

印刷所 中國民報社印刷部 岡山市東中山下四〇

287
9